

# 平成 28 年度奄美市幸福度調査アンケート

## — 調査結果報告書 —

平成 29 年 3 月

奄美市総合戦略推進本部

# 目 次

---

## I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収状況	1
6. 調査項目	1

## II 集計結果

1. 回答者の属性	3
2. 集計結果	3
(1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？	4
(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？	5
(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	6
(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？	7
(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいまいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？	8
(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？	9
(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？	10
(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？	11
(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	12
(10) 永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？	13
(11) 各項目の比較	14
(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？	15
(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？	27
3. 奄美幸福度指数	39
(1) 奄美幸福度 DI	39
(2) レーダーチャート	39

## 参考資料

アンケート調査票	40
----------	----

# I 調査概要

平成 27 年 12 月に策定された「～しあわせの島へ～奄美市『攻め』の総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）」の事業実施によって、島の目指すべき姿である「しあわせの島」に近づいているか、市民を対象としたアンケート調査を実施し、奄美幸福度指数（AHI：Amami Happiness Index）を算出した。

## 1. 調査の目的

- 奄美市では、平成 27 年 12 月に策定した「～しあわせの島へ～奄美市『攻め』の総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）」において、島の目指すべき姿として「しあわせの島」を提示し「しあわせの島」の重要目標達成指標（KGI）は、住民がしあわせに暮らしていると実感している指数＝奄美幸福度指数（AHI：Amami Happiness Index）とした。
- 市民を対象としたアンケート調査を実施し、総合戦略の事業実施によって奄美が「しあわせの島」に近づいているか、奄美幸福度指数を算出し、その達成度を把握するとともに、事業の進捗状況及び見直しの基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査対象

- 18 歳以上の市民 2,000 人とし、性別・年代別・居住地区別の対象者数は以下のとおり。

〔性別・年代別・居住地区別配布数〕

年代	名瀬市			住用村			笠利町			合計	構成比
	男性	女性	名瀬市合計	男性	女性	住用村合計	男性	女性	笠利町合計		
18～19歳	18	19	37	6	5	11	14	14	28	76	3.8%
20歳代	75	80	155	13	14	27	14	14	28	210	10.5%
30歳代	117	126	243	14	14	28	14	14	28	299	15.0%
40歳代	108	108	216	13	15	28	15	15	30	274	13.7%
50歳代	121	118	239	13	14	27	23	24	47	313	15.7%
60歳代	130	139	269	13	14	27	30	27	57	353	17.7%
70歳代	88	121	209	13	14	27	20	24	44	280	14.0%
80歳代以上	70	70	140	12	13	25	16	14	30	195	9.8%
合計	727	781	1,508	97	103	200	146	146	292	2,000	100.0%

## 3. 調査方法

- 郵送配布・郵送回収。

## 4. 調査期間

- 平成 29 年 2 月～平成 29 年 3 月

## 5. 回収状況

- 有効回答数：849 件（回収率：42.5%）

## 6. 調査項目

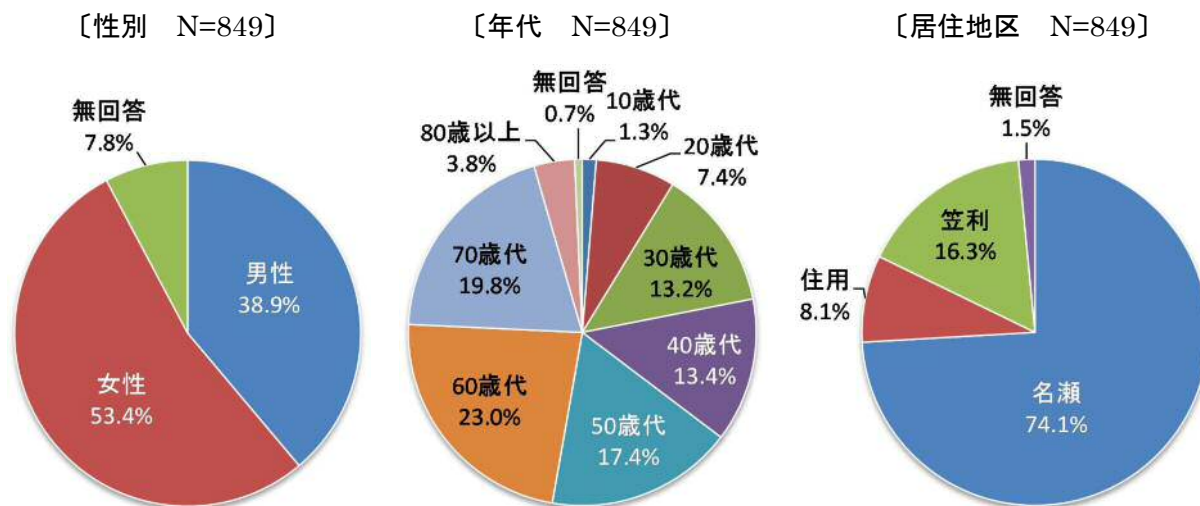
- 回答者の属性（性別、年代、居住地区）
- あなたは日常生活に対して満足していますか？
- あなたは将来に希望を持っていますか？

- あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？
- あなたは奄美が好きですか？
- 奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？
- 奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？
- あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？
- あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？
- あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？
- あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？
- 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事
- 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事

## Ⅱ 調査結果

### 1. 回答者の属性

回答者 849 人の属性は、以下のとおりとなっている。



## 2. 集計結果

### (1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？

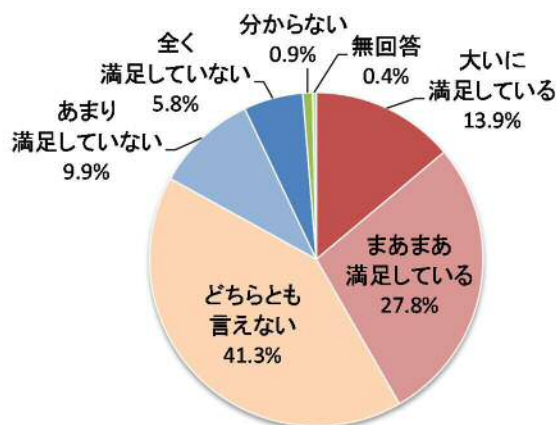
日常生活に対して満足しているか（生活の満足度）について、「どちらとも言えない」が41.3%で最も多く、『満足している（「大いに満足している」と「まあまあ満足している」の合計）』は41.7%と4割以上となっている。なお、「あまり満足していない」が9.9%、「全く満足していない」が5.8%となっている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあ満足している」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、20歳以上は全体と同様に「どちらとも言えない」、10歳代では「大いに満足している」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別では、全ての地区で全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあ満足している」となっている。

〔生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？ N=849〕



		大いに満足している	まあまあ満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	分からない	無回答
性別	男性(N=330)	38 11.5%	95 28.8%	136 41.2%	33 10.0%	23 7.0%	4 1.2%	1 0.3%
	女性(N=453)	69 15.2%	128 28.3%	186 41.1%	41 9.1%	23 5.1%	4 0.9%	2 0.4%
年代別	10歳代(N=11)	7 63.6%	3 27.3%	1 9.1%	-	-	-	-
	20歳代(N=63)	8 12.7%	20 31.7%	23 36.5%	5 7.9%	4 6.3%	3 4.8%	-
	30歳代(N=112)	15 13.4%	31 27.7%	43 38.4%	13 11.6%	8 7.1%	2 1.8%	-
	40歳代(N=114)	13 11.4%	34 29.8%	44 38.6%	11 9.6%	12 10.5%	-	-
	50歳代(N=148)	7 4.7%	47 31.8%	68 45.9%	18 12.2%	7 4.7%	-	1 0.7%
	60歳代(N=195)	32 16.4%	55 28.2%	81 41.5%	17 8.7%	7 3.6%	2 1.0%	1 0.5%
	70歳代(N=168)	28 16.7%	39 23.2%	74 44.0%	16 9.5%	9 5.4%	1 0.6%	1 0.6%
	80歳以上(N=32)	8 25.0%	5 15.6%	14 43.8%	3 9.4%	2 6.3%	-	-
居住地区別	名瀬(N=629)	83 13.2%	183 29.1%	256 40.7%	63 10.0%	35 5.6%	7 1.1%	2 0.3%
	住用(N=69)	8 11.6%	19 27.5%	36 52.2%	3 4.3%	3 4.3%	-	-
	笠利(N=138)	26 18.8%	30 21.7%	54 39.1%	15 10.9%	11 8.0%	1 0.7%	1 0.7%

(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？

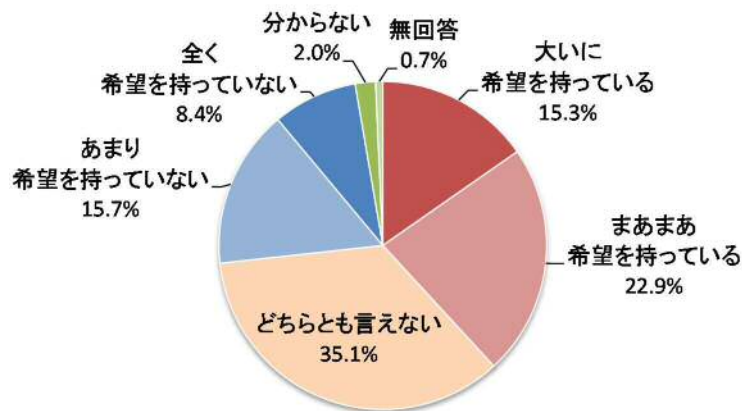
将来に希望を持っているか（将来への希望度）について、「どちらとも言えない」が35.1%で最も多く、『希望を持っている（「大いに希望を持っている」と「まあまあ希望を持っている」の合計）』は38.2%で4割弱となっている。なお、「あまり希望を持っていない」が15.7%、「全く希望を持っていない」が8.4%となっており、『希望を持っていない（「あまり希望を持っていない」と「全く希望を持っていない」の合計）』も24.1%と2割を超えている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあ希望を持っている」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、20歳以上は全体と同様に「どちらとも言えない」、10歳代では「大いに希望を持っている」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別では、どの地区でも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあ希望を持っている」となっている。

〔将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？ N=849〕



		大いに希望を持っている	まあまあ希望を持っている	どちらとも言えない	あまり希望を持っていない	全く希望を持っていない	分からない	無回答
性別	男性(N=330)	44 13.3%	79 23.9%	109 33.0%	60 18.2%	30 9.1%	7 2.1%	1 0.3%
	女性(N=453)	77 17.0%	105 23.2%	164 36.2%	58 12.8%	35 7.7%	10 2.2%	4 0.9%
年代別	10歳代(N=11)	6 54.5%	3 27.3%	1 9.1%	1 9.1%	-	-	-
	20歳代(N=63)	8 12.7%	19 30.2%	21 33.3%	9 14.3%	5 7.9%	1 1.6%	-
	30歳代(N=112)	15 13.4%	35 31.3%	36 32.1%	14 12.5%	9 8.0%	3 2.7%	-
	40歳代(N=114)	18 15.8%	27 23.7%	40 35.1%	15 13.2%	13 11.4%	1 0.9%	-
	50歳代(N=148)	20 13.5%	33 22.3%	54 36.5%	31 20.9%	9 6.1%	-	1 0.7%
	60歳代(N=195)	32 16.4%	37 19.0%	80 41.0%	30 15.4%	13 6.7%	2 1.0%	1 0.5%
	70歳代(N=168)	28 16.7%	35 20.8%	50 29.8%	29 17.3%	18 10.7%	6 3.6%	2 1.2%
	80歳以上(N=32)	3 9.4%	3 9.4%	13 40.6%	3 9.4%	4 12.5%	4 12.5%	2 6.3%
居住地区別	名瀬(N=629)	97 15.4%	145 23.1%	219 34.8%	101 16.1%	53 8.4%	12 1.9%	2 0.3%
	住用(N=69)	13 18.8%	15 21.7%	23 33.3%	9 13.0%	6 8.7%	3 4.3%	-
	笠利(N=138)	19 13.8%	30 21.7%	50 36.2%	21 15.2%	12 8.7%	2 1.4%	4 2.9%

(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？

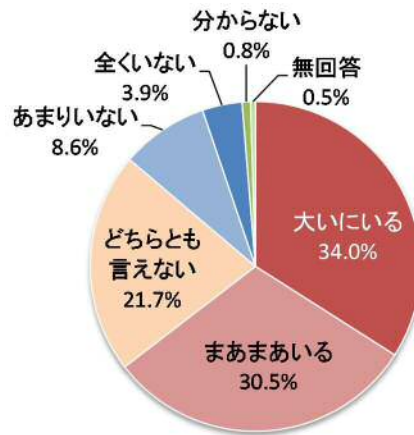
困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいるか(結い度)について、「大いにいる」が34.0%で最も多く、『いる(「大いにいる」と「まあまあいる」の合計)』は64.5%で6割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」が21.7%、「あまりいない」が8.6%、「全くいない」が3.9%となっている。

これを属性別にみると、性別では、女性は全体と同様に「大いにいる」、男性は「まあまあいる」がそれぞれ最も多くなっている。

年代別では、どの年代でも全体と同様に「大いにいる」が最も多くなっている。

居住地区別では、住用と笠利は全体と同様に「大いにいる」、名瀬は「まあまあいる」がそれぞれ最も多くなっている。

〔結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？ N=849〕



		大いにいる	まあまあいる	どちらとも言えない	あまりいない	全くいない	分からない	無回答
性別	男性(N=330)	78 23.6%	122 37.0%	80 24.2%	29 8.8%	14 4.2%	5 1.5%	2 0.6%
	女性(N=453)	189 41.7%	124 27.4%	90 19.9%	36 7.9%	12 2.6%	2 0.4%	-
年代別	10歳代(N=11)	5 45.5%	2 18.2%	3 27.3%	1 9.1%	-	-	-
	20歳代(N=63)	24 38.1%	23 36.5%	9 14.3%	6 9.5%	1 1.6%	-	-
	30歳代(N=112)	37 33.0%	35 31.3%	26 23.2%	8 7.1%	4 3.6%	2 1.8%	-
	40歳代(N=114)	43 37.7%	33 28.9%	21 18.4%	10 8.8%	4 3.5%	2 1.8%	1 0.9%
	50歳代(N=148)	51 34.5%	50 33.8%	27 18.2%	16 10.8%	4 2.7%	-	-
	60歳代(N=195)	57 29.2%	56 28.7%	55 28.2%	15 7.7%	9 4.6%	2 1.0%	1 0.5%
	70歳代(N=168)	56 33.3%	48 28.6%	37 22.0%	16 9.5%	9 5.4%	1 0.6%	1 0.6%
	80歳以上(N=32)	13 40.6%	10 31.3%	5 15.6%	1 3.1%	2 6.3%	-	1 3.1%
居住地区別	名瀬(N=629)	199 31.6%	203 32.3%	138 21.9%	53 8.4%	26 4.1%	7 1.1%	3 0.5%
	住用(N=69)	32 46.4%	17 24.6%	15 21.7%	4 5.8%	1 1.4%	-	-
	笠利(N=138)	50 36.2%	35 25.4%	30 21.7%	16 11.6%	6 4.3%	-	1 0.7%



(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？

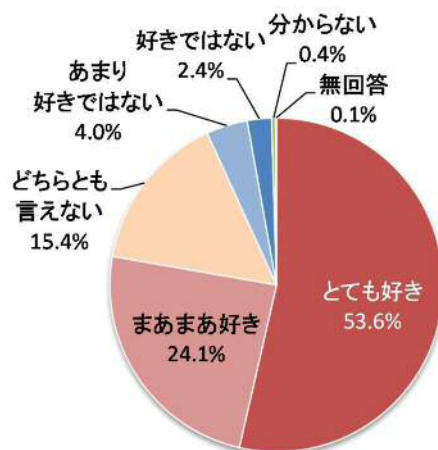
奄美が好きか（愛着度）について、「とても好き」が53.6%で最も多く、『好き（「とても好き」と「まあまあ好き」の合計）』は77.7%で7割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」が15.4%、「あまり好きではない」が4.0%、「好きではない」が2.4%となっている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「とても好き」が最も多く、次いで「まあまあ好き」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、30歳代を除く全ての年代で全体と同様に「とても好き」、30歳代は「まあまあ好き」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別では、どの地区でも全体と同様に「とても好き」が最も多く、次いで「まあまあ好き」となっている。

〔愛着度／あなたは奄美が好きですか？ N=849〕



		とても好き	まあまあ好き	どちらとも言えない	あまり好きではない	好きではない	分からない	無回答
性別	男性(N=330)	171 51.8%	87 26.4%	50 15.2%	15 4.5%	5 1.5%	1 0.3%	1 0.3%
	女性(N=453)	245 54.1%	104 23.0%	71 15.7%	16 3.5%	15 3.3%	2 0.4%	-
年代別	10歳代(N=11)	10 90.9%	1 9.1%	-	-	-	-	-
	20歳代(N=63)	28 44.4%	18 28.6%	11 17.5%	5 7.9%	1 1.6%	-	-
	30歳代(N=112)	41 36.6%	42 37.5%	18 16.1%	5 4.5%	5 4.5%	1 0.9%	-
	40歳代(N=114)	52 45.6%	30 26.3%	19 16.7%	5 4.4%	6 5.3%	2 1.8%	-
	50歳代(N=148)	82 55.4%	36 24.3%	26 17.6%	2 1.4%	2 1.4%	-	-
	60歳代(N=195)	119 61.0%	34 17.4%	33 16.9%	8 4.1%	1 0.5%	-	-
	70歳代(N=168)	100 59.5%	36 21.4%	20 11.9%	8 4.8%	4 2.4%	-	-
	80歳以上(N=32)	19 59.4%	7 21.9%	3 9.4%	1 3.1%	1 3.1%	-	1 3.1%
居住地区別	名瀬(N=629)	330 52.5%	152 24.2%	98 15.6%	31 4.9%	14 2.2%	3 0.5%	1 0.2%
	住用(N=69)	39 56.5%	18 26.1%	10 14.5%	-	2 2.9%	-	-
	笠利(N=138)	76 55.1%	33 23.9%	22 15.9%	3 2.2%	4 2.9%	-	-

(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？

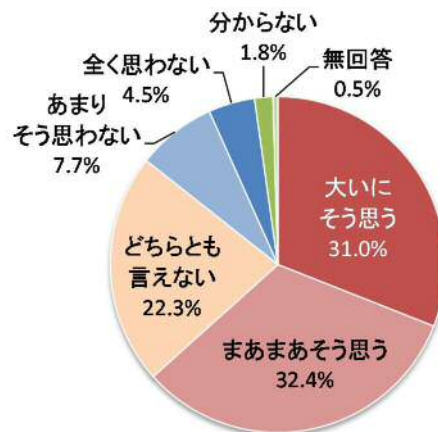
子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思うか（教育環境の満足度）について、「まあまあそう思う」が32.4%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は63.4%と6割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」が22.3%、「あまりそう思わない」が7.7%、「全く思わない」が4.5%となっている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「まあまあそう思う」が最も多く、次いで「大いにそう思う」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、30歳代と50～60歳代は全体と同様に「まあまあそう思う」、10～20歳代と40歳代、70歳代は「大いにそう思う」、80歳以上は「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」、「どちらとも言えない」が同率で、それぞれ最も多くなっている。

居住地区別では、名瀬と笠利は全体と同様に「まあまあそう思う」、住用は「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

〔教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？ N=849〕



		大いに そう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=330)	98 29.7%	101 30.6%	84 25.5%	27 8.2%	15 4.5%	3 0.9%	2 0.6%
	女性(N=453)	143 31.6%	148 32.7%	92 20.3%	36 7.9%	20 4.4%	12 2.6%	2 0.4%
年代別	10歳代(N=11)	6 54.5%	3 27.3%	1 9.1%	-	-	1 9.1%	-
	20歳代(N=63)	22 34.9%	17 27.0%	13 20.6%	7 11.1%	4 6.3%	-	-
	30歳代(N=112)	30 26.8%	40 35.7%	22 19.6%	14 12.5%	5 4.5%	1 0.9%	-
	40歳代(N=114)	38 33.3%	37 32.5%	22 19.3%	7 6.1%	7 6.1%	3 2.6%	-
	50歳代(N=148)	41 27.7%	57 38.5%	36 24.3%	9 6.1%	4 2.7%	-	1 0.7%
	60歳代(N=195)	53 27.2%	63 32.3%	48 24.6%	17 8.7%	8 4.1%	4 2.1%	2 1.0%
	70歳代(N=168)	60 35.7%	48 28.6%	37 22.0%	8 4.8%	9 5.4%	5 3.0%	1 0.6%
	80歳以上(N=32)	9 28.1%	9 28.1%	9 28.1%	3 9.4%	1 3.1%	1 3.1%	-
居住地区別	名瀬(N=629)	186 29.6%	208 33.1%	143 22.7%	49 7.8%	27 4.3%	13 2.1%	3 0.5%
	住用(N=69)	27 39.1%	15 21.7%	19 27.5%	4 5.8%	2 2.9%	1 1.4%	1 1.4%
	笠利(N=138)	45 32.6%	49 35.5%	23 16.7%	11 8.0%	9 6.5%	1 0.7%	-

(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？

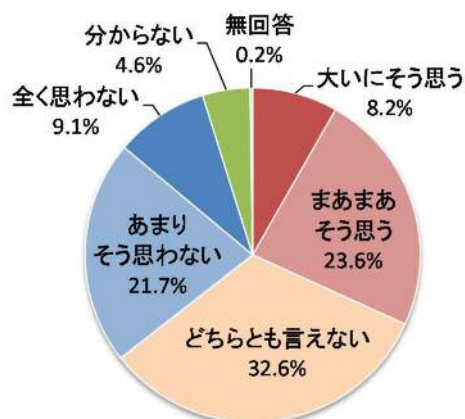
高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思うか（医療・福祉環境の満足度）について、「どちらとも言えない」が32.6%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は31.8%、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』が30.8%と、それぞれ約3割となっている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで男性は「まあまあそう思う」、女性は「あまりそう思わない」となっている。

年代別では、20歳代と40～70歳代は全体と同様に「どちらとも言えない」、10歳代と80歳以上は「まあまあそう思う」、30歳代は「あまりそう思わない」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別では、名瀬と笠利は全体と同様に「どちらとも言えない」、住用は「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

〔医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？ N=849〕



		大いに そう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=330)	22 6.7%	88 26.7%	116 35.2%	69 20.9%	26 7.9%	9 2.7%	-
	女性(N=453)	39 8.6%	98 21.6%	141 31.1%	102 22.5%	43 9.5%	28 6.2%	2 0.4%
年代別	10歳代(N=11)	1 9.1%	4 36.4%	3 27.3%	2 18.2%	1 9.1%	-	-
	20歳代(N=63)	4 6.3%	13 20.6%	17 27.0%	14 22.2%	8 12.7%	7 11.1%	-
	30歳代(N=112)	7 6.3%	22 19.6%	30 26.8%	32 28.6%	15 13.4%	6 5.4%	-
	40歳代(N=114)	3 2.6%	21 18.4%	36 31.6%	26 22.8%	17 14.9%	11 9.6%	-
	50歳代(N=148)	8 5.4%	36 24.3%	58 39.2%	35 23.6%	9 6.1%	2 1.4%	-
	60歳代(N=195)	24 12.3%	40 20.5%	64 32.8%	46 23.6%	12 6.2%	8 4.1%	1 0.5%
	70歳代(N=168)	19 11.3%	50 29.8%	57 33.9%	23 13.7%	14 8.3%	4 2.4%	1 0.6%
	80歳以上(N=32)	4 12.5%	11 34.4%	10 31.3%	5 15.6%	1 3.1%	1 3.1%	-
居住地区別	名瀬(N=629)	45 7.2%	138 21.9%	212 33.7%	144 22.9%	57 9.1%	31 4.9%	2 0.3%
	住用(N=69)	8 11.6%	22 31.9%	18 26.1%	12 17.4%	4 5.8%	5 7.2%	-
	笠利(N=138)	15 10.9%	36 26.1%	41 29.7%	27 19.6%	16 11.6%	3 2.2%	-

(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？

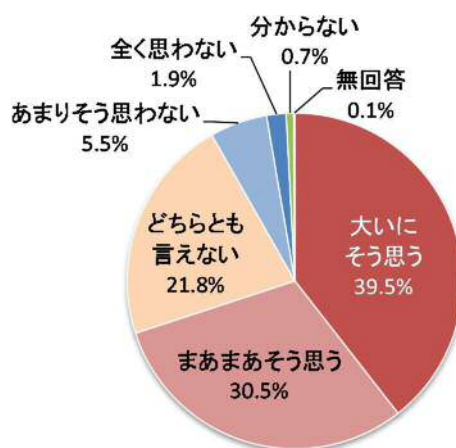
地元産の食材を食べた時に幸せだと思うか（地産地消度）について、「大いにそう思う」が39.5%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は70.0%となっている。なお、「どちらとも言えない」が21.8%、「あまりそう思わない」が5.5%、「全く思わない」が1.9%となっている。

これを属性別にみると、性別では、女性は全体と同様に「大いにそう思う」、男性は「まあまあいる」がそれぞれ最も多くなっている。

年代別では、30歳代を除く全ての年代は全体と同様に「大いにそう思う」、30歳代は「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別では、どの地区でも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「まあまあそう思う」となっている。

〔地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？ N=849〕



		大いに そう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=330)	102 30.9%	110 33.3%	78 23.6%	28 8.5%	9 2.7%	3 0.9%	-
	女性(N=453)	205 45.3%	133 29.4%	90 19.9%	15 3.3%	6 1.3%	3 0.7%	1 0.2%
年代別	10歳代(N=11)	8 72.7%	1 9.1%	2 18.2%	-	-	-	-
	20歳代(N=63)	24 38.1%	21 33.3%	13 20.6%	4 6.3%	1 1.6%	-	-
	30歳代(N=112)	35 31.3%	37 33.0%	27 24.1%	6 5.4%	4 3.6%	3 2.7%	-
	40歳代(N=114)	44 38.6%	32 28.1%	26 22.8%	7 6.1%	5 4.4%	-	-
	50歳代(N=148)	57 38.5%	55 37.2%	27 18.2%	9 6.1%	-	-	-
	60歳代(N=195)	82 42.1%	47 24.1%	49 25.1%	15 7.7%	1 0.5%	-	1 0.5%
	70歳代(N=168)	69 41.1%	54 32.1%	34 20.2%	5 3.0%	4 2.4%	2 1.2%	-
	80歳以上(N=32)	14 43.8%	11 34.4%	4 12.5%	1 3.1%	1 3.1%	1 3.1%	-
居住地区別	名瀬(N=629)	234 37.2%	201 32.0%	135 21.5%	41 6.5%	12 1.9%	5 0.8%	1 0.2%
	住用(N=69)	29 42.0%	21 30.4%	16 23.2%	-	2 2.9%	1 1.4%	-
	笠利(N=138)	66 47.8%	33 23.9%	31 22.5%	6 4.3%	2 1.4%	-	-

(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？

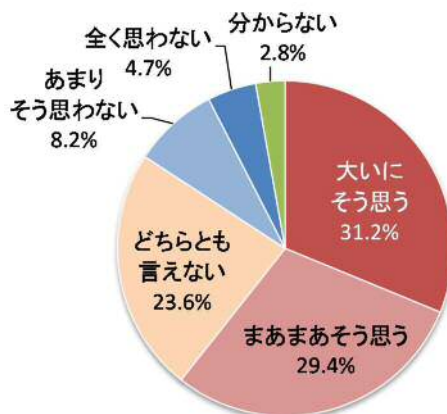
奄美に友人・知人を呼びたいと思うか(招待意向度)について、「大いにそう思う」が31.2%で最も多く、『そう思う(「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計)』は60.6%となっている。なお、「どちらとも言えない」が23.6%、「あまりそう思わない」が8.2%、「全く思わない」が4.7%となっている。

これを属性別にみると、性別では、男性は「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」が同率で、女性は「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

年代別では、10～20歳代と40～60歳代は全体と同様に「大いにそう思う」、30歳代と70歳代は「まあまあそう思う」、80歳代以上は「どちらとも言えない」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別では、住用と笠利は全体と同様に「大いにそう思う」、名瀬は「まあまあそう思う」が最も多くなっている。

〔招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？ N=849〕



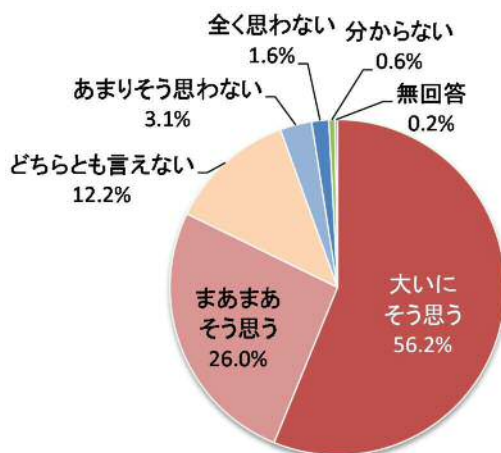
		大いに そう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=330)	97 29.4%	97 29.4%	81 24.5%	30 9.1%	18 5.5%	7 2.1%	-
	女性(N=453)	152 33.6%	137 30.2%	102 22.5%	32 7.1%	17 3.8%	13 2.9%	-
年代別	10歳代(N=11)	9 81.8%	1 9.1%	-	-	-	1 9.1%	-
	20歳代(N=63)	20 31.7%	16 25.4%	15 23.8%	9 14.3%	2 3.2%	1 1.6%	-
	30歳代(N=112)	33 29.5%	37 33.0%	25 22.3%	11 9.8%	5 4.5%	1 0.9%	-
	40歳代(N=114)	38 33.3%	37 32.5%	25 21.9%	6 5.3%	6 5.3%	2 1.8%	-
	50歳代(N=148)	53 35.8%	41 27.7%	36 24.3%	12 8.1%	5 3.4%	1 0.7%	-
	60歳代(N=195)	60 30.8%	58 29.7%	49 25.1%	14 7.2%	8 4.1%	6 3.1%	-
	70歳代(N=168)	42 25.0%	52 31.0%	38 22.6%	13 7.7%	13 7.7%	10 6.0%	-
	80歳以上(N=32)	9 28.1%	5 15.6%	11 34.4%	4 12.5%	1 3.1%	2 6.3%	-
居住地区別	名瀬(N=629)	190 30.2%	193 30.7%	150 23.8%	52 8.3%	26 4.1%	18 2.9%	-
	住用(N=69)	22 31.9%	17 24.6%	17 24.6%	6 8.7%	3 4.3%	4 5.8%	-
	笠利(N=138)	49 35.5%	35 25.4%	32 23.2%	9 6.5%	11 8.0%	2 1.4%	-

(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？

島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいか（おもてなし意向度）について、「大いにそう思う」が 56.2%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は 82.2%と 8 割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」が 12.2%、「あまりそう思わない」が 3.1%、「全く思わない」が 1.6%となっている。

これを属性別にみると、性別、年代別、居住地区別の全てにおいて全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「まあまあそう思う」となっており、属性で大きな違いは見られない。

〔おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？ N=849〕



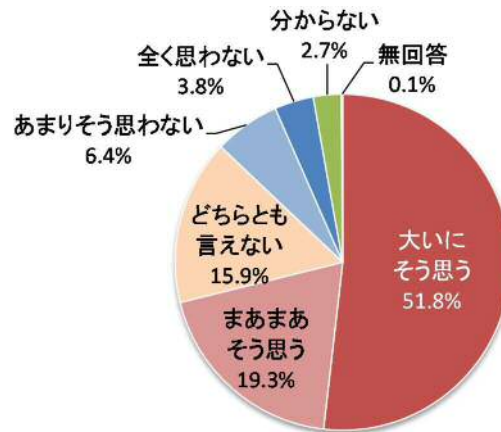
		大いに そう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=330)	183 55.5%	90 27.3%	41 12.4%	8 2.4%	6 1.8%	2 0.6%	-
	女性(N=453)	259 57.2%	114 25.2%	54 11.9%	16 3.5%	5 1.1%	3 0.7%	2 0.4%
年代別	10歳代(N=11)	10 90.9%	1 9.1%	-	-	-	-	-
	20歳代(N=63)	35 55.6%	19 30.2%	7 11.1%	2 3.2%	-	-	-
	30歳代(N=112)	62 55.4%	28 25.0%	10 8.9%	8 7.1%	3 2.7%	1 0.9%	-
	40歳代(N=114)	61 53.5%	34 29.8%	13 11.4%	4 3.5%	1 0.9%	1 0.9%	-
	50歳代(N=148)	88 59.5%	34 23.0%	21 14.2%	3 2.0%	2 1.4%	-	-
	60歳代(N=195)	116 59.5%	52 26.7%	22 11.3%	3 1.5%	2 1.0%	-	-
	70歳代(N=168)	83 49.4%	45 26.8%	25 14.9%	5 3.0%	5 3.0%	3 1.8%	2 1.2%
	80歳以上(N=32)	18 56.3%	8 25.0%	4 12.5%	1 3.1%	1 3.1%	-	-
居住 地区 別	名瀬(N=629)	351 55.8%	166 26.4%	79 12.6%	18 2.9%	9 1.4%	4 0.6%	2 0.3%
	住用(N=69)	36 52.2%	19 27.5%	10 14.5%	1 1.4%	2 2.9%	1 1.4%	-
	笠利(N=138)	82 59.4%	33 23.9%	13 9.4%	7 5.1%	3 2.2%	-	-

(10) 永住希望度／あなたは奄美に今後も住みたいですか？

奄美に今後も住みたいか（永住希望度）について、「大いにそう思う」が 51.8%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は 71.1%と 7 割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」が 15.9%、「あまりそう思わない」が 6.4%、「全く思わない」が 3.8%となっている。

これを属性別にみると、性別、年代別、居住地区別の全てにおいて全体と同様に「大いにそう思う」が最も多くなっている。一方で、年代別では 20 歳代で『思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』が 20.6%で約 2 割見られている。

〔永住希望度／あなたは奄美に今後も住みたいですか？ N=849〕



		大いに そう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=330)	158 47.9%	75 22.7%	49 14.8%	25 7.6%	14 4.2%	8 2.4%	1 0.3%
	女性(N=453)	243 53.6%	79 17.4%	72 15.9%	27 6.0%	18 4.0%	14 3.1%	-
年代別	10歳代(N=11)	7 63.6%	2 18.2%	1 9.1%	-	-	1 9.1%	-
	20歳代(N=63)	21 33.3%	15 23.8%	11 17.5%	9 14.3%	4 6.3%	3 4.8%	-
	30歳代(N=112)	38 33.9%	26 23.2%	25 22.3%	10 8.9%	10 8.9%	3 2.7%	-
	40歳代(N=114)	45 39.5%	20 17.5%	27 23.7%	8 7.0%	7 6.1%	7 6.1%	-
	50歳代(N=148)	74 50.0%	38 25.7%	17 11.5%	13 8.8%	3 2.0%	2 1.4%	1 0.7%
	60歳代(N=195)	122 62.6%	25 12.8%	35 17.9%	7 3.6%	4 2.1%	2 1.0%	-
	70歳代(N=168)	107 63.7%	32 19.0%	17 10.1%	6 3.6%	2 1.2%	4 2.4%	-
	80歳以上(N=32)	23 71.9%	5 15.6%	1 3.1%	1 3.1%	1 3.1%	1 3.1%	-
居住地区別	名瀬(N=629)	318 50.6%	119 18.9%	103 16.4%	42 6.7%	27 4.3%	19 3.0%	1 0.2%
	住用(N=69)	38 55.1%	9 13.0%	16 23.2%	2 2.9%	1 1.4%	3 4.3%	-
	笠利(N=138)	75 54.3%	33 23.9%	15 10.9%	10 7.2%	4 2.9%	1 0.7%	-

## (11) 各項目の比較

(1) ～ (10) の各項目の比較を見ると以下のとおりとなっている。

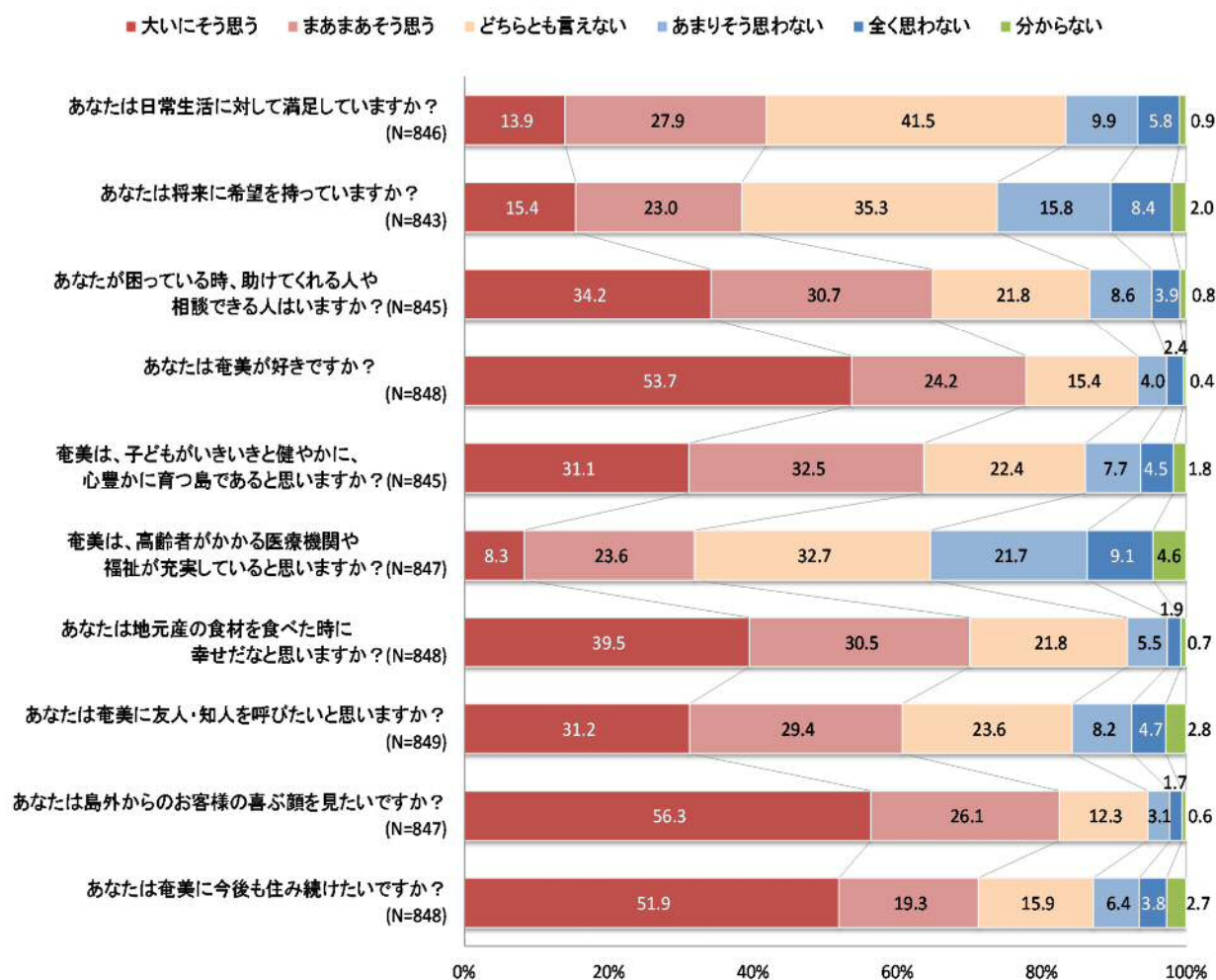
『そう思う』の回答率が高いのは、

- 1 位「おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？」(82.4%)、
- 2 位「愛着度／あなたは奄美が好きですか？」(77.8%)
- 3 位「永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？」(71.2%)

一方、『思わない』の回答率が高いのは、

- 1 位「医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？」(30.8%)
  - 2 位「将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？」(24.2%)
  - 3 位「生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？」(15.7%)
- となっている。

〔各項目の比較〕



※無回答を除く



(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？

日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは、以下のとおりとなっている。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見			
10 歳代	男性	名瀬	自然が多く、海も綺麗でとても住みやすい島だと思う。			
		笠利	もうすぐ子どもが生まれること。			
	女性	名瀬	人との関わり。自然が豊かな所。 知らない人でも会話が出来る、成り立つ。嬉しい時に表現できる環境があること。			
		住用	奄美の知名度も増え、県外からの観光客がたくさん来ること。 自分の欲しいものが買えたとき。			
		笠利	近くに海があって、すぐに行けること。 家族と過ごせること。			
			-	笠利	島の人間関係。	
	20 歳代	男性	名瀬	家族や友人、親戚の人と一緒にいるときが幸せです。 海を代表とする自然の豊かさ。 自然に囲まれ、人も混雑していないこと。 豊かな自然環境。 自然が豊かなこと。 自然がある。 気候。 毎日生活出来ていること。 時間にゆとりがあって、自分のことが出来る時。 のびのび出来ること。 人とのつながり。 家族と過ごしている時間。		
笠利				綺麗な海、自然を見られること。 豊かな自然があるところ。 趣味の釣りができること。		
				女性	名瀬	気候が穏やかで住みやすい。自然もすぐ近くにあり、楽しめる。 家族や友人と過ごしているとき。スキルアップに向けて勉強など取り組んでいる時。 人は優しいのかもしれないが、外に出ない為わからない。 子どもと過ごす時間。 毎日病気やケガが無く健康に過ごしていることが幸せです。 奄美の元気のいいところ。 人が温かく優しく助け合っていける所です。 家族の笑顔が見れるとき。 好きな食事が出来るとき。 家族、友人が奄美に住んでいる。 仕事がある。一人で生活できる。人ごみがないので疲れない。 家族が健康で過ごしていること。親子共に友人に恵まれているところ。金銭的に困っていないこと。転勤族なので、奄美を観光出来ること。 家族、友人と楽しめること。 住み慣れているので、気が楽。好きな人たちに囲まれて暮らせて幸せを感じる。 人が優しい。自然が豊かで美しい。 子どもの笑顔を見た時。 景色の良い所にすぐ行けること。ご飯がおいしいこと。 美味しい食材と豊かな自然。 子どもと触れ合っている時や子どもの笑顔を見た時に幸せを感じる。 自然で遊ぶことが出来る。都会とは違い、時間に縛られているという感じがしない。ゆったりと出来ること。 海がすぐ近くにあって風が気持ちいいこと。天気のいい日のドライブ(景色がいい)。
住用						二人目が生まれること。 豊かな自然があるところ。 人が温かいこと。 近くに家族がいること。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
20 歳代	女性	笠利	友人との会話。海や星空がきれいに見えたときに幸せを感じる。
			海が近い。温暖な気候。
			子どもがいること。
			いろんな行事に参加してみんなの笑顔を見たとき。
			親切な人が多いこと。いつでもきれいな海が見られること。
	-	名瀬	同窓生がいること。地域行事をしているとき。島で自分の趣味に打ち込んでいる時。
30 歳代	男性	名瀬	家族や友人とすぐ会える距離にること。
			犯罪が少ない。スーパーやコンビニ等もあり、生活しやすい。
			家族と過ごすこと。仲間と過ごすこと。気候の良い時期。
			家族がいること。
			平和であること。
			家族と笑顔で毎日を過ごしていること。
			美しい自然(空・海・森)の風景を見れる。助け合うことのできる地域の人々がいる。
			自然が豊かであること。
			自然が豊かであること。
			地元の奄美で仕事が出来て、日常生活を過ごしていること。
			自然豊かな環境で過ごせること。
			家族と一緒にいるとき。子どもが楽しそうにしているときに幸せを感じる。
			子どもと遊んでいるとき。
			青い海、白い砂浜を見ると幸せを感じる。
			通勤時間の短さ、海、山が近く趣味と仕事のバランスがとりやすいところ。
			海、山の自然が残っていること。
			家族と過ごせる時間があること。
			人との繋がり。
	家族と笑顔で過ごしている時。		
	思い立ったときにすぐ海に遊びに行けるところ。		
	奄美の海を眺めている時。家族と過ごす時間。		
	のんびりと過ごせること。		
	子どもの成長。働けること。		
	楽しく、健康な時。		
	家族と過ごす時間があること。		
	家族で行動している時にふと感じる。		
	住用	休日に友人や家族とリラックスして過ごしている時。	
女性	名瀬	笠利	食べ物おいしい。
		趣味に取り組んでいる時。お給料がいただける時。自由な時間がもてるとき。	
		自然がきれい。	
名瀬	家族が身近にいて、安心して生活ができる。大きい医療機関が近くにある。		
食べている時。			
家族で楽しく元気に過ごしていること。地域の自然、人がいいところ。			
家族が元気で暮らしていること。			
平和に暮らし、家族も幸せに暮らしていること。			
たまの外食で美味しいものを食べるとき。			
健康に生活できること。			
海が近くにある。水が美味しい。自然が多い所。			
珍しい生き物に出会えるところ。			
子どもの成長。自然の豊かさ。			
綺麗な海へすぐに行ける。時間がゆったり流れているところ。			
子ども、家族の笑顔を見たとき。			
海や空を見たとき、仕事で努力が実ったときに幸せを感じる。			
こどもがすくすく大きく育つ自然環境があること。			
奄美に生まれ育ち、家族全員で生活できることに満足しています。子育てにも、素晴らしい環境で幸せです。			
家族でゆっくり過ごしているとき。			
みんなが仲良くしているところです。			
子どもを遊ばせる場所があること。また、その場で知らない子同士でも仲間に入れてくれる子が多い。親同士も話しやすい。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住 地区	意見
30 歳代	女性	名瀬	自分の行いで人に喜んでもらうこと。
			自然と触れ合いながら子育てができること。近くに頼れる、伯父、伯母がいること。
			食事ができ一日何事もなく過ごせ、ゆっくり眠りに就ける時。
			子どもと触れ合っている時。
			子どもが自然の中で生き生きと遊ぶ姿を見たとき。
			夫、家族という時間が幸せ。お金が十分にあり生活できると満足。
			子どもを住民の方が皆さん大切にしてくださること。美味しい地元のものがないとき。子どもが笑顔でこちらを見る時。
			子どもの寝顔を見た時。
			家族・友人と楽しみを共有できること。仕事をチームで成し遂げられることなど。
			子どもの医療助成が有り難い。昔からの友人と子育て世代になっても会いやすい距離にいること。
			子どもの成長を感じたり、奄美の自然に触れること。
			貧しいながらも、家族が健康でいてくれること。
			子どもと遊んでいるとき(特に海)。
			家族と共に過ごせること。
			趣味に時間をかけられること。
		何でも近場で用が済むこと。子ども達が安心、安全に過ごすことができる。	
		畑で採れたものを食べたり、子どもが常に自然の中で成長出来ること。	
		旅行。美味しい物を食べた時。	
		子どもが日々成長することに幸せを感じる。	
		子どもの笑顔。	
		家族で笑っている時。	
		自然の中で時間に追われることなく、のびのびと子どもと過ごせること。	
		住用	自然に囲まれた環境で暮らせること。
			子どもの成長を感じる時。自然が身近にあり、奄美にしかない動物が見られること。
			無駄なく生活できたとき。
			買い物(ショッピング)をすること。
			自然に囲まれているので子育てしやすい。
笠利	自然が多いので気持ちいい(ドライブやウォーキング)。海がきれい。山がきれい。星空・夕焼けがきれい。クジラ、ウミガメ、イルカに出会える。		
	家族や友人が元気で生活できていること。また、自分も元気で生活できていること。		
	島唄が聞けたり、地場産の野菜が食べられること。		
	子どもの笑顔を見られるとき。知人友人などの会話を楽しめるとき。		
	内地のように生活苦で自殺をする人が少ないこと。		
40 歳代	男性	名瀬	家族や親戚のつながりが強いこと。
			思ったより都会的。自然が豊かなこと。
			自分は障害者ですが、以前住んでいた東京よりは安心して暮らせます。
			好きな卓球ができること。
			家族と一緒に過ごす時間。
			自然が多い。
			海が見られること。
			気候、離島が故の自然。
			身近に自然を感じられること。文化や人との繋がりは奄美固有のもので財産と感じるところ。
			年中温暖な気候。海の綺麗さ。自然の豊かさ。
			健康で生活できるだけで幸せを感じる。
			通勤が楽でストレスがないこと。
			自然がいい。
			子どもがいること。
			ゆっくりと時間が流れているところ。
		休日にパートナーとドライブに行くこと。カラオケに行くこと。	
		自然がたくさんあり、空気がきれい。花粉症状がでないこと。	
		日々、健やかで穏やかに生活できること。	
		奄美市中心部に居住するなら便利だと思います。	
		生きていること。	
食べ物、地元食材が美味しい。			
住用	家族が元気で朝昼晩と食事がとれること。		

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
40 歳代	男性	笠利	奄美の自然。結いの心。
			豊かな自然があること。マリンスポーツを楽しめること。
			趣味の釣りをしているときに奄美に住んでいて良かったと思う。
	女性	名瀬	綺麗な景色を見たとき、友人と飲みながら語らえる時。
			地域のつながりがある。(子どものころとは比べ物にならないくらい薄れつつあるが、都会よりは…)
			美しい自然を見て心が癒されること。
			自然が身近にあること。
			家族みんなが健康でいるわけではないけれど、それなりに幸せで満足しています。
			雨、風、しのげる場所があり美しい奄美の食材を食べている時。
			家族が健康でいること。
			今の職場の人間関係が良好であること。
			子どもに優しい社会に満足しています。
			地元の方々はとても面倒見がいい。海が美しく、変なヘドロ臭などない。清流でタナガ採りができ満足。
			奄美の食材や奄美産のものに触れること。
			子どもの笑顔。お金はあまりないが、何不自由なく生活できること。
			ゆっくりと自然に囲まれて暮らし、家族との時間を持つこと。美味しいものをいただけるとき。
			季節ごとの野菜を食すとき。特に自分で作った野菜は最高です。
			自然に囲まれていて、1年を通し温暖で過ごしやすい気候であること。
			島唄を聞いたり、島で演奏できるときに幸せを感じます。
			自然が豊かでストレスなく生活できる。
			普通に生活できること。
			家族の協力があること。
			健康で生活できること。
			地元の方々はとても面倒見がよい。海が美しく、変なヘドロ臭とかがない。清流でタナガ採りが出来る等は満足。
			子どもたちと一緒に笑ったり、話をしたり楽しい時間を過ごせたとき。
			美味しい食事を楽しんでいるとき。娘と笑い話をするとき。海と山がキラキラしているとき。
			人も気候も温かくて子育てもしやすいので、奄美がいい。
			子どもの笑顔を見ているときに幸せを感じます。
			家族と一緒にいられること。
			家族が健康で元気なこと。
			朝起きて、お日様が出ている時は幸せです。毎日の生活が幸せです。
			家族と一緒に過ごす時間。
			家族が健康に共にあること。
仕事や生活のすぐ近くに来ていな海や自然があるところ。			
健康。仕事がある。			
奄美の自然に触れ合う体験をした時。			
子ども達家族との日々の生活。			
子どもの成長。			
空が広いなと思った時。きれいな海を見た時。家族と穏やかな時間を過ごしている時。			
子どもの成長。近所との助け合い。			
健康でいられること。			
毎日元気で美味しいご飯が食べられること。家族が健康でいられること。			
子どもが健やかに育っていること。			
自然が豊かなところ。			
子どもの成長を感じる時。			
美しい海を眺めたり、みんなが笑顔で食事をしたりすること。			
自分だけの時間が持てた時。			
住用	自分の時間がもて充実しているとき。自然を見ている時。		
	恵まれた自然の中で、子育てが出来てすすすす育つ。		

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
40歳代	女性	笠利	都会にいた頃と違い、通勤や残業等に疲弊することが少なく、人間らしいリズムで季節を感じながら暮らせること。
			ご近所付き合いがあり、安心して暮らせること。
			人と人とのつながり。気にかけて声をかけてくれること。一緒に笑い合ったり、話しができる相手がいること。
			あたたかい人に囲まれていること。
			家族と一緒に過ごせること。
	-	-	家族が近くにいること。自然が多く、人が優しいこと。
	-	-	自然が多い所。
	-	名瀬	自然が目前にある。
	-	名瀬	美味しいものを食べた時。家族や親しい人との会話や触れ合い。自然の豊かさに触れる時。人情に触れる時。
	50歳代	男性	名瀬
奄美の自然に接しているとき。家族と一緒にいるとき。			
健康であること。			
何不自由なく生活できること。			
日常の平穏な生活。			
仕事、家族、ライフワーク。			
自然豊かな環境。			
日々お金の心配がなく生活できること。			
健康で毎日過ごせていること。			
今日も一日無事過ごせたと実感できる時。			
自然が豊かであること。			
奄美の新鮮な食材、魚介類と野菜など。カルキなしの水道水があることに幸せを感じる。			
身近に大自然が多い。			
環境がいいところ。			
自然(海)がうつくしい。認知症が進んでいるものの母がいてくれること。			
自然に囲まれてストレスがない。助け合いの精神が生きていること。			
海、山などの自然を身近に感じられること。			
仕事が充実しているとき。			
人と人とのつながりが密接でいい部分がたくさんあると思う。			
海山川などの自然が素晴らしいこと。			
豊かな自然と人情が厚いところ。生まれ育った島が大好きです。			
子どもの成長。			
奄美に住んでいること。			
家族全員一緒にいる時。			
近くに白い砂浜があること。			
健康であること。			
買い物や公共機関が近いこと。			
友人が多いこと。自然が豊かな所。			
ありがとうと言われた時。息子達という時。健康でいられること。			
自然に触れた時。			
健康で平凡な日々を送ることが一番の幸せです。上を望んだらきりがないので。			
住用		住用	空気がきれい。自然が豊かなところ。
			一つも幸せと感じられることはない。
			結いの心が残っている。
笠利		笠利	自然が豊かで海や山に出かけるとき。
	仕事、友人、奄美の海山川すべてが自分の体の一部となっている。奄美の風はとてもちがいがいい。		
	母が元気なこと。		
	人が親切。		
	働く場所がある。		
自然環境に恵まれている。			
伝統の祭りに参加できること。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
50歳代	女性	名瀬	大学等に行った子ども達が奄美に帰ってきて仕事をもち、結婚して孫ができたこと。
			家族が健康でいること。
			自然が身近にある。
			身近に親しい人が何人もいること。
			普通に生活が出来ていることが幸せ。家族が健康に過ごせていることに満足している。
			海的美しさ、神秘的、ロマンあふれる自然美、おいしい果物、魚などをいただけること。
			健康であること。
			子どもや孫が近くに住んでいること。
			仲のいい友人とのランチ。ショッピングに出かける時。
			母と二人仲良く暮らせていること。
			近くに本当にきれいな海があり、自然も豊かなところ。
			食べ物もおいしいし、健康で楽しく暮らせていること。
			犬の散歩中、野草を見たり鳥のさえずりなど自然を感じながら日々生活していること。
			明るく大らかな良い人たちに囲まれていること。
			仲間と同じ目的を持って仕事(趣味も含め)すること。
			暖かい気候であること。
			家族が健康で元気で過ごせること。
			山の野百合が咲いたのを見たとき。くっかるの声を聞いた時。
			朝起きて鳥のさえずりが聞こえる時。家族で一日三食食べられることのありがたさを感謝します。
			子ども達が頑張っている姿を見ると。家族で出かける時。
			自然と触れ合うこと。人の笑顔を見たとき。
			夫、子どもの健康と幸せ。孫と触れ合って遊べること。
			人とのつながり、絆があること。
			困ったとき等相談にのってもらえる知り合いが大勢いること。
			健康であること。
			自然の豊かさ。人の温かさ。
			85才の母親が健在であること。
			自然が豊かで心が癒されるところ。
			時間がゆったりと流れているところ。
			人の情を実感する時。生まれた島に住み続けることができること。
			夜、病気の家族に何事もなく顔をみて床に就ける時。
			朝、主人を送り出し、夕食をともにするとき。一日家族が安全に暮らせたとき。季節ごとの島の食材を味わえる時。
			高齢者から気さくに声をかけられ、笑顔で挨拶されること。
			周りの人たちの笑顔を見たとき。
			海の青、山の緑、空の青、鳥たちのさえずり。
			家族みんなが健康に過ごしていること。
			「結」の精神が根付いている。困った時に助けってもらえる。助けてあげる。
		気候に恵まれている。仲間の集まりがあり楽しみがある。	
		自然に囲まれて生活出来ること。	
		自然が美しい。特に海。	
		自分の周囲の人達(家族、親戚、友人、その他関わっている人)がいつも笑顔で暮らしていて、その手伝いが出来ること。	
家族(子ども達)が皆健康に過ごしていること。			
子どもや孫と一緒に楽しく生活出来ること。			
子どもの部活している姿を見ると。家族や身内と一緒に旅行に行った時。親の嬉しそうな笑顔を見る時。			
健康で生きていること。			
働けること。孫に癒されること。親が元気なこと。			
奄美の自然の中で生活出来ること。			
住みやすさ。人間関係が良い。良い人が多い。			
周りの方が親切である。挨拶をしてくれる。			
家族や職場など自分の居場所があると感じられる時。			
何事もなく、穏やかな気持ちでいられる時。			
両親、兄弟と一緒に生活していること。			
両親、子どもたちと日々生活出来ていることはお金には変えられないもので、幸せを感じる。喜びも悲しみもみんなで感じながら生きられること。			
住用			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
50 歳代	女性	笠利	自然がきれいなところ。人に優しい言葉をかけてもらえた時や気にかけてもらえた時に幸せを感じる。
			ペットと一緒に暮らせること。
			家族全員が島で生活していること。
			自然が豊かであること。
			家族や友人が笑顔で何事もなく暮らせること。
			助けてくれる人や相談できる人がいて幸せ。
			家族で食事をしながらのささいな会話。
			子ども達が奄美に住んでいるから。
	-	名瀬	自然に親しめること。
			自然に恵まれており、天気(晴)の時は青空、海、草花、山々と眺めるだけでも幸福感を味わえ、散歩コースにも恵まれている。
			綺麗な海を見た時。
			豊かな自然の中で生活出来ていること。
			自然がたくさんあり、遊ぶ、観光、ドライブするには最高。子育てにも良い環境だと思う。生活用品も近い場所にすべて揃っている。
			豊かな自然がたくさん残されていること。人々が明るく親切なこと。
笠利	家族がそれぞれの場所で健康で生活していることは幸せだと思っています。		
60 歳代	男性	名瀬	離島なのに、不自由なく生活できること。
			特別な病気もなく、現在仕ことが出来ていることと家族が近くにいること。
			子どもの元気な顔を見たとき。
			時間がゆったり流れているところ。
			温暖な気候であること。
			気候が温暖で奄美の所々に知り合いがいること。
			他人の世話にならずに生活できているところ。近場の旅行にいける。夫婦二人で暮らせているところ。
			美味しいものをいただけるとき。
			仲間が多くいること。人と人とのつながり。
			大好きな釣りに行きたいと思ったらすぐに行けること。グランドゴルフなどもしており、体を動かしている時に幸せを感じる。
			奄美特有の自然を活かした食材が採れること。
			家族が健康でいること。
			住まいがあり、仕事があり、家族が元気なこと。
			小さいながらも庭の片隅のベンチに腰掛けて、鳥のさえずりが聞こえる時。
			健康で暮らせること。
			健康で生活出来ていること。
			仕事があり、健康で日常生活を送ることができることに感謝している。
			仕事があること。自然が近くにあること。
			自分にもやれることがあること。友人に恵まれていること。
			近くに病院、郵便局、銀行、お店があるので不自由なく暮らせている。
			自然が豊かであること。
			自己表現の場が得られていること。
			孫と会う時。
			美しい海が見られること。
			自然環境が良く、伝統文化が豊か。人情『結い』の心が厚い。
			磯釣りをしている時に満足感があります。
			自然が美しいところ。
			家族が円満に暮らせていること。
			健康で過ごせること。
			孫が近くに来て、子どもと共に生活をして、畑で楽しく野菜を作ったり、収穫を楽しむこと。
			自然の写真を撮ることが好きなので、多くの題材が身近にあること。
			健康で働く場所がある。衣食住に満たされた時。
子どもや孫の成長ぶりを見る時。			
不幸を感じないこと。			
健康で仕事が出来ること。			
生まれ育った島で支え合いながら生活出来ること。			
仕事があること。健康であること。			
仕事がある事こと(体力的にまだ働けること)。			
1日の生活のリズム感がゆったりと流れていることが幸せ。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60歳代	男性	住用	自分の家から海が見えて、自分の釣った魚、自分が作った野菜を食べている時。
			自分の意志で行動できること。
			兄弟、子ども、孫が健康でそばにいること。
			孫と過ごすとき。お金に困らず生活できること。
		笠利	母親、友人がいること。
			健康であること。
			家族が健康に生活していること。
			環境のいいところ。
			夫婦共に健康で生活できること。
			自然体で生活ができること。
	女性	名瀬	自然が豊かなこと。
			奄美で生まれ育っているので、都会での暮らしはわからないので奄美が一番いいと思う。
			お祭りが大好きなところ。自然に恵まれ、きれいな空気や環境がいいところ。
			山、海、川の自然が近くにあること。
			海に行きたいときにいつでも行けること。おしゃべりができる友人がいること。
気候が温暖なので過ごしやすいところ。			
60歳代	女性	名瀬	美しく豊かな自然に囲まれて生活できることが幸せに感じます。
			毎日を健康で笑顔で過ごせること。
			家族が健康で毎日過ごせることが幸せです。
			のんびり過ごせること。人とのつながり。時には煩わしいこともあるが、幸せを感じる。
			島の新鮮な食材を食べる時。
			自然が豊か。
			普通でいられること。
			人並みに生活ができること。
			子、孫たちが元気になっていることです。
			ホテルの仕事をしていて、ツアーのお客様が来ること。
			自然があり、食、人、心があたたかいこと。
			身体が健康であること。
			自然の植物や野鳥の声や姿などが見られること。
			美しい自然。青く澄み切った海と空気の良さ。
			奄美の自然、食べ物、食材、元気なお年寄りの笑顔、畑仕事、八月踊りなど。
			子どもが元気であること。夫が健康であること。
			自然が多く、近くには海、山もあるし島もそれなりの大きさなので満足している。
			安心安全に日々暮らせていること。生活費の心配がないこと。健康であること。
			綺麗な自然環境の中で暮らせること。
			自然が身近にあること。
			平和であること。温暖な気候で過ごしやすいところ。
			働く場所があって、好きなことができること。
			気候が温暖なこと。
			孫と食事に行ったり、外出すること。
			子どもや孫と笑顔で過ごせること。
			健康であること。
			健康に生活できること。
			自然があり、生活圏内に全て一通り揃っており生活しやすいところ。
			子どもたちが近くにいること。
			夜空を見上げ、月や星を見つめる時に幸せを感じます。
素晴らしい自然。人と人とのつながり。結いの心。			
子どもも結婚し、心配事もなく普通に生活できること。			
自分の住む家があり、幸せを感じる。			
現在健康でいること。			
親や兄弟姉妹が近くにいること。地産地消の食材が豊富にあること。			
子どもや孫が身近にいて、友人もたくさんいること。			
季節の食材。海、山の自然の恵み。都会に比べてストレスがない。			
夫婦ともに健康であること。			
気候がとても良いところ。人がとてもあたたかいところ。			
ゆったりとした時間が過ごせること。			



〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？（続き）〕

年代	性別	居住地区	意見
60 歳代	女性	名瀬	自分の好きなことができること。
			普通に老後が過ごすことができると思うので幸せ満足。
			健康であること。孫の笑顔が見られること。
			ありがとうと言われた時。仕事充実しているとき。
			まだ働かせてもらっていることは幸せです。
			のんびり暮らせる。隣近所の方と仲良く過ごせる。
			自然が豊かなこと。
			健康であること(夫婦共に)。
			夫婦二人で元気で生活出来ること。又、友人達とグランドゴルフで楽しんでいること。幸せ、満足です。
			自由です。長期に渡り、実父母、夫の父母の介護。やっと終わったのが 40 年の姑の介護。自分の周囲が穏やかでいてくれると幸福ですが、人間には色々な思いが絡み合い、幸せも不満も感じるのでは。心を失ったように思います。自分の老後もすぐです。このまま平穏でいられたらと思います。
			息子、知人、友人がいること。
			家族で過ごせる時。孫と遊ぶ時。奄美は自然が多くて良い。
		子ども(娘)と一緒に過ごす時間。	
		子どもが近くにいること。友達がいて、仕事があること。	
		自分の好きな時間にしたいことが出来ること。	
		通勤途中に山や海を見る事ができ、福祉施設に勤める中で利用者の方々から喜びを感じます。1日早く過ぎる。	
		家族が和気あいあいしていること。	
		健康で生活出来ること。仕事出来ること。	
		大好きな「島」で、家族や同僚、地域の皆さんに囲まれ元気に過ごせていること。	
		住用	海、山、川を自分が自由に活用している。
		笠利	地域とのつながりがある。
			孫と一緒にいることが大変幸せです。
			家庭、家族内で贅沢は出来なくても穏やかに過ごせていること。物を粗末にせず無駄なく使いきった時。
			自然が美しい。食べ物おいしい。ゆったり時間が流れていること。
	豊かな自然の中で暮らせること。		
	周りの人々が皆さんいい人ばかりだということ。		
	自然が豊かであること。食べ物も豊富にあること。		
	集落の人たちと会話ができること。		
	豊かな大自然があること。他人が優しく接してくれること。		
	人のあたたかさ。		
	島の方言で話しかけてくれるとき、なつかしく幸せに思います。		
	子どもたちが皆奄美に住んでいて、孫の顔が見ることが嬉しいです。		
	家族が健康であること。		
	人間関係がうまくいっていること。		
	子どもや孫、義父母も近くに生活し、楽しく暮らしています。自然豊かな島で、伝統産業の大島紬にも興味があるので、奄美に生まれ、暮らせることが幸せです。		
	いつでもどこにいても自然を満喫できる。雪が積もっている他の地域を見ると、奄美は降らないので幸せ。電気代が安い。		
皆の笑顔を見るとき。美味しい物を食べて、病院の世話にならずに動けること。			
-	名瀬	現在健康でいること。	
		孫が生まれて嬉しくてたまりません。	
		食材がおいしい。	
		毎日穏やかに過ごせること。	
		平和であること。	
		レクリエーションをすること。	
		仕事。	
		健康で良く働けていること。近隣の友達とコミュニケーションがよくとれること。	
		人が優しい。自然環境に恵まれている。	
		隣に住む子ども家族が自由に行き来できる環境。近くに見える緑、青い空、海、島に住み続けながらいいなあいつも思います。	
なんでもやりたいことはすぐ出来る(食べることも)。			
自然が良い。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？（続き）〕

年代	性別	居住地区	意見
60 歳代	-	住用	自然が豊かであること。
			子どもや孫が健康に暮らしていること。
			子どもたちがそばにいること。
		笠利	一日を健康で終えたこと。
70 歳代	男性	名瀬	親の近くで生活できること。
			自然との共生。
			家族子ども達が全員親思いであり協力的であること。
			自然は豊かで適度な人的、文化的刺激があること。
			医療機関が充実していること。
			健康であること。
			病院、スーパー、学校、郵便局などが近距離にあり、日常生活に不自由はしないこと。
			良き家族、良き友人に囲まれていること。
			お酒が飲めるとき。
			普通に衣食住に事足り、生活出来ること。
			健康であること。
			毎日健康で過ごしていること。
			住まいの近くに市役所、銀行、郵便局、コンビニなど全部そろっているので満足です。
人々が深い絆で結ばれ、思いやりがある。			
70 歳代	男性	名瀬	健康で1日3度の食事ができ、不特定多数の方々との会話ができること。
			海や山の自然があること。
			奄美は天国だとよく孫に話している。本土に比べ、自然災害が少ないこと。学校、病院、スーパーもすぐ近くにあり、日常生活に支障なく暮らすことができる。町内も子ども会から老人クラブまで7団体もあり、それぞれの組織が活発で充実した集落体系であること。本当に暮らしやすい島だと思う。
			神様の御心の中で生きていと思える時。霊的な充実感を感じる時。
			自然の豊かさ。
			気候が温暖で自然災害も少なく住みやすい島であるところ。
			気候が温暖で四季もはっきりしており住みやすいところ。
			老後の時間を自分の思うままに使えるところ。家事などすべて一人で行える。
			週一回海釣りを楽しむこと。娘夫婦と同居できること。
			人間関係がぎすぎすしていないこと。
			人情、心の豊かさを感じる。家庭円満であること。
			奄美大島の人是一人一人みんなが親切で心が温かい。
			隣近所の付き合いが出来ること。
			気長にのんびり、ゆっくりと生活できる時。
			老人会でゴルフをしたり、テニスができる。
			医療施設、産業施設が身近にあり、充実していること。
			仕事ができること。
		自然に触れて生活出来ること。	
		小さな町ですので、自分の足で行動でき、今のところ楽しく暮らしています。	
		日々経済は厳しいですが、健やかに過ごしていること。	
		孫達と一緒に過ごす時に幸せや満足を感じます。	
		住用	自然が豊富なところ。開発が進んでいない所。
			豊かな大自然。澄み切ったおいしい空気。汚濁のない自然水のあるこの地に生きること。
			自然環境。
		笠利	自然が美しいこと。
			住みやすい町。
			はつらつ教室で担当者が色々とか気にかけてくれること。
奄美は自然環境がよく、住んでいて幸せだと思う。			
人と人との絆。			
-	友と酒が飲め、語れること。		
-	自分の目標が達成できたとき。		

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？（続き）〕

年代	性別	居住 地区	意見
70 歳代	女性	名瀬	個人として、恵まれていると感謝している。
			好きな仕事をこれからやっていこうと思っていること。
			健康であること。
			交通が便利で生活しやすいところ。
			山、海が大好きなので幸せを感じる。
			子どもや友人、知人が近くにいるので幸せです。
			友人、知人など身内に頻繁に会えること。お店なども近くにあり便利。近所との付き合いもいいところ。
			幸せは自分の気持ち次第。ありがとうの気持ちを忘れずに日々努力しています。
			大きな事件もなく、近隣も親戚の様で安心して暮らすことができる。
			朝起きて体調がいい時。家族が笑顔で過ごせていること。
			静かに夜が更け、気持ちのいい朝を迎えられるときに一番幸せを感じる。
			畑仕事ができること。
			友人、誰とでも気楽に声かけが出来ること。
			子どもや孫に囲まれて暮らしていること。
			自然が豊かである。
			自分の研究が実を結びつつあるので、日々満足感到満たされている。
			衣食住すべてに満足している。人情が厚いところ。結いの心が育っていること。
			自由に暮らせ、友人もたくさんいること。
			海、山と自然が目前にあり、空気がきれいなところ。
			3人子どもがおりますが、そのうち2人は近くに住んでいること。
			今のところ健康であることに幸せを感じる。
			日々三度の食事がいただけること。
			ゆったりと過ごせること。
			話せる友人がいて、自分で買い物に出かけることができること。子どもたちが近くに住んでいること。
			都会のように地震や自然災害が多くないこと。
			親しい友人と会うこと。奄美の島が大好きです。これからもよろしく願います。
			海も山も近く使いようで食材に困らず生活できる点。人間関係もよい。子ども達が一度本土の学校に進学したが、地元企業に就職できたこと。
			地元産の食肉、魚、家庭菜園の食材で食事ができたとき。奄美の静かな四季のうつろいを感じられるとき。
			気さくに近所同士で話せること。
			自分の足で歩けること。
			子どもや孫が遊びに来た時に畑仕事をやったり、皆とグランドゴルフなどをしているとき。
			人と会話しながら三度の食事が出来るのが幸せ。犬がいること。
			空、海、山、花、鳥など生き物などをゆっくり眺めているとき。
		元気でグランドゴルフ、盆栽などをしている時。	
		長浜地区の為、集合会場が近く利用できること。高齢になると如何に身体・能力を保つかに気を遣います。	
		高齢者になって楽しめる所がある。	
		家族全員が健在であること。	
		家族と一緒に住み、地元産の食材、山、海の珍味を頂くこと。	
		福島や山形の友人達が奄美の自然をほめてくれる時。	
		友達とおしゃべりする時に幸せを感じる。	
自然の中で生活出来ることは幸せです。			
海や山が近くにあって、いつでも行けること。			
心にいつも喜びを感じるように努力しています。			
健康に恵まれ、子孫に囲まれ、地域のボランティアに携わり、喜んで働き、喜んで生活出来ていること。			
話し相手がたくさんいること。			
住用	友人、親類と話し相手がいて普通に生活できること。		
	仲間との昼食会。		
	子どもや孫の成長ぶりを見ることに幸せを感じる。		
	健康で毎日楽しく過ごせていることが幸せに感じる。		
若い青年が多くなってきているところ。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見	
70歳代	女性	笠利	夫、子ども、孫と毎日の暮らしの中、一日があつと言う間に過ぎる。	
			こんなにも素敵な島で家族が健康で幸せに過ごせること。仕事ができること。そんな毎日に日々感謝しています。	
			日常的に、いつも話し相手になってくれる仲間がいる。	
			自然の豊かさ。島料理が食べられる。知人、友人たちとグランドゴルフができること。	
			皆が顔見知りで、物々交換が出来ること。	
			ゆったりと過ごせること。	
			幸せです。満足です。	
			テレビと庭畑の土いじりを楽しんでしている時間。	
	-	-	-	平凡な毎日の生活ですが、幸せです。
				奄美には祖先がいるから住んでいる。
				みんなが幸福であること。
				妻、子、孫、母親ともに生活できること。趣味が出来ること。
				比較的近くに店や病院がある。近所の人たちがほとんど顔見知りであること。
				のんびり過ごせること。
-	-	-	人情が厚いところ。	
			住用	静かに生活できること。
-	-	-	笠利	自然が豊かなところ。
			家族が美味しい食事を出してくれる時。土いじりやボランティア活動で適度の汗をかいたとき。	
80歳以上	男性	名瀬	心の持ち方次第で、心豊かに過ごすことができる。あらゆることにありがたの気持ちを忘れずに、今生かされていることに感謝しています。	
			住みなれた街、生活にゆとりがあるところ。自由に過ごしている。これからも元気で幸せでいたい。	
		歩いていける所に病院やコンビニ、スーパーがある。80歳になっても車で海や山に元気で行くことが出来ること。		
		住用	子どもや孫がいること。	
		笠利	近所の方々との互助。 現在健康なので幸せです。 家族(子や孫)が近くにいること。	
80歳以上	女性	名瀬	子どもの家族が健康で暮らしていること。	
			生活が安定している。子ども達が近くに住んでいる。現在健康に恵まれている。環境が良好。	
		住用	家族がいること。	
			自分を介護してくれる子どもがいること。	
			健康であること。	
			朝目が覚めて今日も一日無事に過ごせると思うこと。	
			人との付き合いが、満足にできている点。	
		健康であること。		
		笠利	海がきれい。空気がいい。	
			近所の人や周りの方々にいつも声を掛けていただくことです。	
-	-	-	名瀬	自然に恵まれているところ。人情が厚いところ。
			男性	名瀬
-	-	-	-	子ども達が元気で健康なこと。
				普通に生活できること。生きていること。夫婦で元気であること。友人に恵まれていること。
				75才になって体が動かせることや、老人クラブの施設の花を育てているときに幸せを感じる。

(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？

日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは、以下のとおりとなっている。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見
10 歳代	男性	名瀬	行きたい所までの距離が長い。
		住用	大きな劇場とか、遊ぶところがあまりない。
		笠利	妻とケンカをしてしまうこと。
	女性	名瀬	子どもの教育者(親や学校の先生)の育成をもっとして頂いて、奄美の将来に夢を見たいです。
		住用	レンタカーの危険運転。地元(住用)でスピードを出して運転しているので危なく感じる。 近くに公園が無いこと。
		笠利	若者の働く場所が少ないこと。
			職が少ない。
-	笠利	島の人間関係。	
20 歳代	男性	名瀬	どこに行っても知人に会うこと。
			仕事が少ないこと。
			貧困家庭が連鎖していること。
			給料面。将来への不安を感じる。
			雨の日が多いところ。
			物価が高い。
			所得。
			遊ぶ場所がないこと。
			体の不調がある時。
			賃金の低さ。物価の高さ。街、川のゴミの多さ。島外からの旅行者(レンタカー)を検挙する警察。道も分らない所に来ているのだから少しくらい多めに見ないと、今後の旅行者は減る一方だと思う。良いイメージがない旅行先などに薦める気にもならない。遊ぶ所が少ない。
			労働賃金が低い。税金が高い。医療機関が充実していない。
			日常での生活で、思うように身体が動かない。
			好きな音楽のライブや、スポーツ観戦が出来ないこと。衣装の購入でかぶる。
			仕事が少ないところ。
	仕事の休みが少なく、都会では給料も良かったのに島の給料が少ない。		
	-	-	本島に比べ物価が高い。
	女性	名瀬	病院等で島外に行かないといけない時、移動の負担を感じる。
			内地にはあるお店や物、施設などが奄美にはないこと。
			行きたいと思うお店は2階にあったり、入口に段差があたりして身障者には優しくない街という点。
			市役所の福祉政策課の保育所の説明が人やタイミングで毎回違って、保育所や託児所の申し込み自体させてもらえず、母子家庭なのに働けないこと。育児をする際の設備の不便さと施設不足。そのため生活が苦しい。
			仕事がうまくいかなかったときに感じます。
			子どもがほしいこと。
			少子高齢化で人口減少が進んでいることです。
			子どもが遊べる場所が少ないこと(芝生広場、公園などがあまりない)。
			外出ができにくい。友達が少ないこと。
			買い物に不便なところ。
			待機児童の多さ。シングルへの配慮がまだ足りないと思う。
文化的インフラの不足。休日に行く所(複合施設、映画館、美術館等)がない。お金を使わずそこそこ生活できる魅力がある半面、使うところがほとんどない。パチンコ屋ばかりでうんざりする。結果、鹿児島市で消費しているのもったいないと感じます。			
子育て支援施設が充実していないところ。公園の遊具の老朽が激しく遊ぶところが少ない。綺麗なトイレが少ない。交通マナーが悪い。			
高齢者、若者が活躍できる場が不足している。奄美で夢が持てるようなものが無い。不登校が多いように感じられる。コミュニケーション不足なので、触れ合う場所を作ることが大切なのでは。			
都会で当たり前にあるものがないこと。取り残された気分になることがしばしばある。物価が高いので、通販で買うしかないが送料も高い。			
保育料が高い。子育てしている女性が働きにくい。仕事がなかなか決まらないのに保育園を退所させるのはどうかと思う。産業廃棄物処分場建設をやめてほしい。美しい自然と海が汚染されるのは悲しく思う。			
離島なので少し疎外感がある。			
仕事と終わりの航空便がほとんどなく、島外に出るには休日をやりくりしなければならないこと。			
小さな不満ですが、子どもが生まれる前から思っていました、こんなに自然がいっぱいあるのに子ども連れ(ファミリー)で遊べる公園があまりない。荒れ果てた公園(あかさき)などもったいない。			
介護、福祉の環境がまだ遅れている。遊ぶ所がない。給料が安いのに物価が高い。家賃も高い。			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見	
20 歳代	女性		少子高齢化のため、アーケード街が殺風景に見え、さびしく思っている。	
			自然のレジャーはたくさんあるが、雨が降った時など屋内のレジャー施設がないこと。	
			住用	産婦人科が少ないこと。
				不便さ。
				若者が少ない。
		笠利	航空運賃が高いこと。台風時の品薄状態。	
			公共交通機関が不便であること。	
			お店が無く、出かける所も少ない。名所がないところ。	
			うるさい人がいること。	
			お買い物する場所が少ないところ。	
-	名瀬	閉鎖的すぎる。世界は広いのに、こんな狭い所に生まれて不幸。噂話くらいしか話題もないし、よそ者も受け付けない。		
30 歳代	男性	名瀬	お店や買い物があまり選べないところ。	
			どこに行っても知り合いがいること。	
			不動産が高い。商品の品揃え、サービス。	
			お金がないこと。	
			お金がないこと。	
			島の行政、企業が適当に仕事をするとこ。	
			給料が少ない。税金や保険料が高い。	
			物価が高い。子育て世代への行政、民間サービスがまだ薄い。遊び場など。貧しい高齢者が多いところ。	
			本土に簡単に帰れないこと。	
			職が少なく、税金が高く、住みづらい。先がない。	
			子育てにかかるお金。お店の少なさ。	
			子どもの発熱で仕事を休むとき、周りから嫌な顔をされること。	
			医療機関の対応の悪さ。	
			仕事が無いこと。ブラック企業が多い。賃金が低いので生活が出来ない。幸せな人は公務員と経営者だけです。最悪です。	
			島外からの物資が天候により止まってしまうこと。生活保護の方が金銭をだまし取っていること(当方、県外からの移住です)。	
	所得と物価のつり合いがあわない。			
	交通の不便さ。			
	仕事が忙しく、家族との時間がとれないとき。			
	スポーツ用品を購入できるお店がないところ。			
	若い年代が少ない。			
	給料が安く、将来が不安。			
	賃金が安い。物価が高い。			
	ストレスがたまっている時。			
	保育園が少ない。			
	役所職員の仕事の遅さや向上心の無さなどで市民全員が困ること。			
	住用	同世代や若い人達が帰ってきたいけれど仕事が無いという話を聞いた時。		
	笠利	子どもを遊ばせるところが限られていて残念。ガソリン代も高い。内地に出たら島に帰って来たくなくなるのでは。生活しやすいようにもっと行政は活動するべき。内地から帰ってきて仕事もないので、魅力のない町になっている。第二の夕張市になるのを待っている感じを受けるので、過疎化はさらに進んで行くと思う。		
		物価が高い。		
		欲しいものが奄美では手に入らない時。奄美では車なしでは生活できないこと。老人ばかりが優遇されていると感じること。		
		仕事が少ない。		
-	名瀬	島外への移動が大変(運賃)。		
女性	名瀬	島外に行くためにお金がかかるので、なかなか子ども達に色々な経験をさせてあげられない。		
		お金が足りないこと。		
		買物や雨の日に外出できる場所が少ない。楽しい公園が無いところ。		
		仕事の待遇について不満を感じる。		
		子どもも大人も遊ぶところが少ないところ。		
		医療機関の少ない点。家賃が高い。買い物に行くのも不便なところ。		
		奄美の所得水準が低いこと。特に介護職の賃金が安すぎる。		
		病気になった時に医療の選択ができないところ		

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
30歳代	女性	名瀬	様々な場所(公園や公共施設など)子育てに対してのハード面が不十分。車社会なので、バスの本数が少なく利用できないところ。
			冬に子どもたちを遊ばせる場所がないところ。
			生鮮食品が高い。地元の人同士のつながりが強すぎて付き合いにくいところ。
			接客態度が悪いところ。お客様の都合より自分の都合のように感じられる。観光地の手入れが行き届いていない。
			集落活動の強制的な参加の勧誘。
			給料水準、生活水準が低いこと。観光、世界遺産といっているが、環境が全く整っておらず島外の方に何も無いと言われることが不満。
			母親が働きながら子育てしやすい環境、制度作りをもっと取り組んでほしい。
			公務員職と一般職の所得格差が大きい。一般企業の賃金も上げてほしい。
			物価が高い。チェーン店が少ない。娯楽施設が少ない。
			雨が多い。雨の日に遊べる場所が欲しい。ネットで安く購入できても送料が高すぎたりする。物価が高い。専門病院がない(不妊、頭痛)。
			話をする人がいないとき。役に立てないとき。
			医療機関が充実していない(発達障害などの専門の方がいない)。非行少年のフォローをする場がない。
			道が混雑している時。
			子どもと遊べる場所、施設が少ないこと。
			公共交通の不便さ。交通マナーの悪さ。不法投棄が多く自然破壊が心配。
			不幸はわからない。不満は生活保護が多い。働く場所が少ない。
			物価が高いのに、賃金が安すぎることに不満があります。生活保護世帯者がパチンコに行ったりしている。もっと行政は厳しくされた方がいいと思います。奄美には不満ばかりです。世界遺産に登録させることによりもっといろいろな所が崩れると思います。
			道路や無料駐車場が充実しないこと。夫との関係や近所との関係がうまくいかないとき。一人の時間がとれないとき。
			仕事が少ない。給料が十分ではない。自分の仕事が認められていない。又は評価が十分ではない。
			仕事が非正規雇用の為、有資格者でも「雇止め」されそうな状況にある。
			家賃が高い。車が必須。職場の考え方が古すぎて本土の良さを反映できない。「島だから出来ない。仕方ない。」という40～60代が多すぎて、20～30代が島外に出ていく。やろうと思えばできることなのに。
			子どもの遊べる公園がない。あっても遊具がなかったり、ロープがしたまま。もっと今後活躍する子どもの為に力を入れるべき。島での若者の職が増えたら嬉しい。
			パートの賃金が安い。最低賃金より下のところも未だある。母子家庭で仕事を掛け持ちしていても、色んな支払いをするとその日食べるのも苦労する時もある。子どもと心の中しようかと考えたことが何度もある。
		病院、医療(土日に受診するには不便。また少ない)。夜も遅くまで診てもらえない。	
		複合商業施設が少ないこと。新鮮な野菜、果物が常には手に入らないこと。	
		給料が安い。食料が高い。子どもが室内で遊ぶ所がない。	
		児童手当やもっと子育てしやすい街づくりをして欲しい。買い物をする場所に休憩する場所やトイレなどを作って欲しい。	
		陸が続いていないため、内地にある実家に帰るのに時間、お金がかかる。	
		体型(自分の)。	
		物価が高いこと。金銭面に関して。	
		医療機関、教育機関その他いろいろな面において選択肢が少ない。船、飛行機ともに交通費が高い。屋内で遊ぶ場が少ない。	
		住用	子どもが成長するにつれて不安を感じる。田舎は自立をなかなかすすめられない。
			子どもたちが安全に自由に遊べる場所が少ない。必ず親が連れて行ったり付き添わないとどこにも行けない。外からの意見など受け入れて改善していこうという気持ちが足りないところ。
			思い通りにいかないとき。
			子ども達が島外に出ないと仕事がない。
			医療機関に専門性がない。住用町は子どもが少ないので統合して登下校バスを出してほしい。きれいな海を埋め立てしないでほしい。公園や展望台の整備をしてほしい。自然の中で遊ばせたいので、公園の遊具の整備をしてほしい(ほとんど壊れている)。住用の児童センターを作ってほしい。
		笠利	給料が安いので、将来の生活資金に対する「不安」を抱えながら生活していること。
			仕事に関しても、役所の動きが遅いことが多く、対応がいまいち(相談しても意味がない)。
			医療機関の少なさ。
			海や山の開発をしつくて、マングースや犬猫を殺して補助金を獲得しようとしていること。
			働ける場所が少ないこと。 買い物をする場所の少なさ。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
40 歳代	男性	名瀬	平均収入よりも家賃などが高額すぎる。医療機関の不足。
			生活保護受給者に対する偏見みたいなものをいまだに感じます(東京にいたときよりも)。
			公園に遊具が少ない。
			賃金が安いし、家賃も高い。行政が頼りない。児童や高齢者の施設が乏しい。産業が乏しい。働く場所がない。同族系経営の会社が多すぎる。
			所得が少ないところ。
			仕事が無く生活を安定させられない。
			キンサクバルがきちんと整備されていない。
			離島が故の交通の便の悪さや、高額な交通費。
			ブラック企業に社会保険全額負担させられました。
			世間が狭い。
			高度な専門医療を受診できない。
			道路状況、交通マナーの悪さが際立っている。
			家族で行ける娯楽施設や飲食店が少ないところ。
			給与が少ない。仕事も少ない。
			仕事はあるが、収入が少なくお金を使えない。経済が回らない。休日に行く場所がなく、娯楽施設はパチンコしかないこと。
			物価が高く、買い物が不便。交通マナーが悪いこと。
			人間関係。
			悲しい事件、事故。
		仕事を任せてもらえない時など。疎外感。	
		ゴミがポイ捨てしてあること。犬のフンの始末をしない。信号無視が多い。	
		住用	もっと自分に合った仕事があるのではないかと感じる時。
	笠利	東海への空の便が不便。	
		公共交通機関が少なく不便。高齢で自動車運転が出来なくなると特に感じる。	
		奄美に大学があればと思う。	
		生活は便利になってきたが、満足まではいかない。奄美市と龍郷、古仁屋など、生活における補助の違いが大きい。笠利は奄美の中でも不安を感じる。	
		まだまだ島の福祉に関するところが島外と比べ遅れていること。	
	女性	名瀬	せつかくきれいな景色の所にゴミがたくさん落ちている。
			奄美の素晴らしさが伝わっていない住民による不法投棄、ごみの投げ捨て、何より貴重生物を守る法を一刻も早く作って欲しい。昆虫や花が消えていく取り返しのつかない状況だと危機感が募ります。
			医療機関が限られていること。
			相手に想いが伝わらない時。
			仕事のこと。人間関係。
			仕事が少ない。都会にいる奄美の人には仕事面では厳しい。
			奄美の自然が脅かされること。
水道料金、ガソリン代、生活物資の値段が割高。また島で家族を養うだけの稼ぎが無い人は大変だと思う。今年の有効求人倍率が過去 10 年で最高なのに奄美は 0.6 倍であると新聞で読んだ。若者の雇用が無いのはやはり不幸だと思う。生活保護に頼らざるを得ない人が多いのはみんなにとっても不幸なことだ。			
子どもたちがスポーツ、部活の遠征や就職進学で島外に出ることが当然の様に思われているところ。子育てで進学する子をもつ親として、子どもが進学で島を出る時は親も一緒に出たいと考えているため、奄美には住み続けようと思っても叶わないところ。			
他国の戦争、テロ、煙草のポイ捨て。			
時間に追われ焦ってしまうこと。			
子どもが県外の大学に通っているが、交通費が高くなかなか様子を見に行けないこと。子どもの帰省に伴う交通費も高すぎること。			
安定した生活を送れる職場が少ないこと。島外への移動時に交通費が高くなること。			
医療が充実していないところ。			
市営、県営住宅が少なく老後が不安。賃金の割に家賃が高い。			
支払いが多い為、貯金ができないこと。			
交通の便が不便であること。			
夫と不仲の時。			
所用で県外に出る必要がある場合、旅費が高額になること。何かにつけ選択肢が少ない点。			
医療施設の不足。病院が充実していない。特に休日、夜間の小児科受診に悩む。			
税金のために働いている感じがする。観光客が増え、これからももっと増えると思うが、増えてほしい一方、メインの道路わきの雑草や、公園の草などが目立ち恥ずかしい気持ちになる。			



〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見		
40 歳代	女性	名瀬	医療スタッフの技術と人間力の質。		
			日々ではないですが、離島というこの不満はあります。子どもの遠征での交通費や、コンサートに行きたいけど旅費や宿泊費、天候悪化の時などはちょっと不満です。		
			働いている職場の給料が年々減っている。好きな仕事でがんばって働いているのに評価されていない気持ちになる。		
			隣人とのトラブル。周囲にばれないような嫌がらせをしつこく受けている。		
			人間関係が狭い。面倒くさい。		
			格差を感じる。仕事がない。人々の考え方が冷たい。		
			離島だから、物価が高い。交通費が負担になる時。		
			自然もいいが、子どもと一緒に遊べる施設の充実や公園の整備をしてほしい。		
			医療、福祉があまり充実していない。土地、家賃が高く、収入に合わない。将来的に年金がもらえるかどうか。冬の観光スポットがない。		
			天気が悪い日が続く時。物価が高いこと。欲しい物が入手しにくいこと。賃金低いこと。離婚率が高いこと。たばこ文化がまだあること。情報が口コミばかりなこと。		
			出費(何かとかかる。物価も高い。光熱費なども高い)。		
			低所得で生活が苦しい。		
			安定した収入を得られる仕事がないこと。		
			将来年金で暮らせていけるかどうか。		
			女性は仕事を続けていくことが難しい。		
		仕事がないところ。			
		子どもの部活の遠征にお金がかかる。また、大学受験をするにも、家探しに行くにもお金がかかる。			
		病院は専門的な部分が少ない、不足している。			
		経済的な面。IT 世代についていけない。子どもの成長。			
		住用	自分の時間が持てないとき。競争、嫉妬に巻き込まれそうとき。 若者が働く場所が少ない。		
		笠利	中心地以外での医療の選択肢の不足。高校・大学時、就職時の子どもの流出。笠利から名瀬への通学バス不足と経済負担の多さ(1カ月のバス代3万円位)。集落「区長」激務の集中と報酬の少なさがひどい。 将来子どもを島に呼んで移住することを勧められないこと。 笠利地区は子ども(幼児～小学生)の遊び場、公園や施設が少なすぎる。ないに等しい。公園も管理がずさんで、安心して遊べない。 人を見ただ目で判断するところ。 若者が働ける場が少なく、給料が安い。 家族の病気。島は物価が高い。		
		-	勤務時間が長いことで子育ての時間が十分に取れない。子どもの高卒後の進路。島外に出るときの旅費。		
		-	名瀬	交通マナーの悪さ。特に自転車。 船舶・航空運賃が高すぎる。埋め立て過ぎる(旧港は特に残念)。 職場の人手不足。医療・介護の質の低下。	
		50 歳代	男性	名瀬	経済的に困っている。不公平や格差がある。無駄も多いと思う。
					理不尽な人と接した時。給料が低いこと。
					残念な出来事に会ったとき。
					所得水準が低いこと。
公共交通機関の便が非常に悪く、運賃も高いところ。					
なぜ奄美が島なのか、ということを考えるとき。					
離島運賃に不満を感じる。物価も高い。賃金が安いこと。					
勤務時間が長いこと。					
貧しい人が多い。母子家庭も多く、貧しさの連鎖が続く。					
時給が安いこと。飛行機代(交通費)が高いこと。					
仕事が無いこと。年収200万円以下です。					
経済的に貧困であること。					
自衛隊基地を誘致したことで、将来の不安材料が増えた。					
離島だから気軽に旅(移動)が出来ない。時間と出費も多大であると思う。					
仕事に限られていること。					
相変わらずゴミの不法投棄が目立つ。自身も含め市民のモラル低下が間われると思う。一人一人の心掛けが必要ではないか。世界自然遺産の足かせにならないよう、もう少し自然を大切に宝物として後世に残すように努力するべきだと思う。					

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
50 歳代	男性	名瀬	子どもを産み育てやすい環境を整えて欲しい。特に財政面。全国的にみても、収入が少ない反面、子どもを預けるための費用は高い(保育園、幼稚園)。これでは若い夫婦らが将来設計を立てづらい。島の人口増加につなげるためにも、子ども・高齢者に優しい奄美を作り、全国にアピールしてもらいたい。
			収入が少ないこと。
			仕事で自分の立場的な事も有り、プライベートの時間や休みが取れない。
			台風などにより食料品が無くなること。
			収入が少ないこと。
			航空運賃、輸送費が高い事。公務員が多いこと。同じような仕事しかしかないこと。
			今後年金を受け取る時に、地方は賃金が低いために貰える年金が少ないので、不満を感じる。少子高齢化が進む中で心配。
			物価が高い所。職場が少ない所。子どもの遊べる場所が少ない。
			不衛生を余儀なく受け入れている家庭、家族を見た時。
		医療機関、教育機関。今後観光客が増えた時の状況(中国人の多かった北海道、別府は最悪でした)。	
		住用	仕事が少ないこと。
			飛行機代が高く感じる点。
			会社の社長が自分にばかり仕事をさせるのでストレスがたまっている。
			高速通信(光インターネット)が使えない。携帯電話のエリアが狭い。
			税金未納で利子がたくさんあるため、支払いがきついこと。
	奄美の人口減少が進んで行った場合、奄美の産業は衰退してしまうだろう。何で食べていけばいいのか不安です。		
	笠利	交通マナーが悪い。	
		もう少しゆっくりとした生活時間が欲しい。	
		経済レベル、所得が最低であること。	
		ゴミが海岸や道に落ちていること。	
	女性	名瀬	不倫、パワハラを平気で出来る。ある介護事業所の責任者、一体何十人の人を傷つけて退職に追い込んだ事でしょう。介護職が人手不足なのは、色んな理由があるのでは？仕事内容や給料、それ以前の問題だと思います。この事業所を辞めた方で心身を悪くし、介護職に就けないでいることを重く受け止めるべき。
			たばこをいまだに車中からポイ捨てする人を見ると悲しくなる。もっと農業に力を入れるような対策を。休耕地が多い。市内の道路をもっときれいにした方が良い。中学、高校の鹿児島への遠征費がかかりすぎる。学校代表でいっているのだからもう少し何とかして欲しい。生活に支障あり。
			医療機関(医師)の充実をはかって欲しい。人との関係。しがらみ。
			子どもの希望職種では奄美に安定した就職先がなく都会で働くことになるため、一緒に住めないこと。
			不幸なことではないが、給料だけでは生活するのに大変なのに副業禁止になっていることが不満。
			交通の便が悪いところ。自動車なしには移動できないところ。
			短いパートで仕事をしているが、収入が足りないこと。
			同じ仕事をして、雇用保険、勤務日数など少ないことが不満を感じる。
			母のことが心配。
子ども(孫)が遊ぶところがない。一日中見たり遊んだり食べたり休憩するところが無い。			
子どもたちには生き生き育てほしいと願っていますが、今の学校教育では、なかなか難しい気がする(教職員にはもっと生き生きとしてほしい)。			
港などゴミが多く、また不法投棄も多い所。			
良い歯科医院が無い。やもりが家の中に入ってくる所。			
島からの交通の便の悪さ。交通費もかかること。			
お金がないこと。			
将来のことを考えると不安になる。			
母が具合が悪くなったとき、病院がすぐに対応せずその後死亡した時。			
世界自然遺産を目指しているのに、相変わらず森林や川にごみ、空き缶のポイ捨てが多いこと。モラルの問題意識、認識が薄い。			
お金に余裕がない。学校(子ども)で部活の顧問の先生が平等でないこと。			
若者が働ける場所が少ない。			
やはり離島であるがゆえの不便が多いです。全国的にですが、貧困や福祉の問題などが幸せを感じる原因でもあると思います。			
物価が高い。離島割引を利用して、鹿児島便が高い。			
医療、福祉が不十分。高度医療を身近な地域で受けられない点。			
交通運賃が高いこと。物価が高い。地産地消とアピールされている割には、まったく出来ていないところ。			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
50 歳代	女性	名瀬	どこに行っても知り合いがいるので、自由に行動できず閉鎖的だと感じる。
			友人を観光に連れて行くところが少ない。
			専門的な医療機関が少ない。選択肢がないところ。
			船賃、航空運賃が高いこと。
			自分しか親や兄弟のことを考えていないこと。兄弟の援助もなく、一人で病人を看ていること。
			奄美の特産品をたくさん開発し高齢者の働ける加工所をつくるなどして、求人を増やしてほしいです。
			島に帰りたいと思う子ども達の職場が少ない事。島という世間の狭さ。個性の尊重の難しさ。
			離婚率が高く、親が愛情と責任を持ち、子どもに養育していない現状を目にするとき。子どもの貧困の差が大きい。
			子どもたちが学校で楽しく生活出来なくて不登校であると聞いた時。
			住民の交通マナーの悪さ(特に自転車)。
			欲しいものがすぐ手に入らないこと。
			島外に出る時に出費がかさむこと。子どもの進学に多額の費用が必要となること。
			所得が低い為、老後のことを考えると不安。また、車の運転が出来ないと不便。
			山、海に花や長命草が減っていること。
			原因がわかっていること(体調不良、人間関係など)を解決できず、他人からの助言を全く聞いてくれない人が近くにいること。
			奄美の若者は働く場所があまりない。
			職場で理不尽なパワハラを受けている。訴えても聞き入れてもらえない。
			夫の仕事が安定せず、子どもにお金がかかるので借金が増える。
	仕事が忙しく休みが少なく、色々な行事に参加できないこと。		
	高齢者の福祉に比べ、子どもや青年期の福祉が充実していない。		
	医療が十分ではない。専門医が少ない。病気をした時に医療の遅れを感じる。島外の医療を受ける際にコストがかかる。		
	買い物、洋服を買う場所が少ないし高い。給料が安く、子どもを島に呼べない。		
	社会に不満。市役所関係者のマニュアル以下の対応に不満です。		
	住用	お店が集落になく、買物弱者になっている老人がたくさんいること。	
	笠利	人に受け入れられていないと感じる時。物理的にも精神的にも世間が狭く密なので、1つの人間関係の良い悪い影響が大きいところ。	
		公共交通機関が不便。	
		朝早くからの区長のマイク放送。しつこく繰り返すこと。	
子どもたちが島で働く所がない。			
旅行にお金がかかること。休暇もとりにくいこと。			
市民の生活水準は低いにもかかわらず水道料金を始め、物価など暮らしにかかる費用が高い。この時代に車からゴミを投げ捨てている人がいるということ。			
交通の便が悪いこと。買い物できるお店が遠いこと。			
収入。職があまりない。			
離島間の移動の際、運賃が高すぎる。			
雨の日の外遊び(運動)等、個人で自由に出入り出来て楽しめる場所がまだ少ないのではないかと考えられ、探しているところです。			
休日に遊べる場所が少ないところ。			
奄美の男は亭主閑白で、女性が仕事、家事、子育てすべてやるのが当たり前と知っているところがある。			
住用	インターネット環境が整っていないこと。家に光回線すらひくことが出来ないこと。		
60 歳代	男性	名瀬	税金等が高すぎる。
			社会福祉が充実していない。飛行機の離島割引が鹿児島しか使えない。福岡、東京も使えるようにしてほしい。
			仕事が出来ているわりに収入が本土に比べて安いこと。出し物が多い。
			仕事が無いこと。
			仕事がうまくいかなかったとき。
			世界自然遺産登録に向けた取り組みと奄振との整合性がよくわからない。
			離島のハンデ。(輸送費、交通費などの各種運賃)
			知人や近親者など面倒な頼まれごと、また金銭的なことが多いこと。
			所得年金格差。
			若い人の働ける職種が少ない。島外へ出ないと若い夫婦は生活が苦しいのでは？共働きしないと生活出来ない。企業誘致しても運送コストがかかる。
			健康面に不安を感じる。
			求人が少ない。賃金も安い。物価が高い。格差が広がっていること。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60 歳代	男性	名瀬	求人が少ないので、仕事をしたい人にとっては不満があるのではないかと。
			人とのつながり、協調性がない。
			子ども達(東京在住)に会う為、交通費がかかり過ぎること。ガソリン代が高い。欲しいものもネットでないと購入できないところ。
			隣近所の方々とあまり話をする機会がないこと。
			周りの人が少し干渉しすぎること。
			所有物に対する責任のなさ。整備不良車両を放置していたり、不法投棄など。
			腰痛で自家用車やバイクに乗れなくなり、交通の自由度が減ったこと。
			あと何年生きられるかと考える時。
			離島ならではのハンデ。
			働く職種が少ない。子ども達の楽しむ場所が少ない。
			物価高・低収入で生活が苦しい。仕事が少なく失業率が高い。
			観光する名所がいまいちわからない。奄美は何を産業にしているのか分からない。物価が高すぎる。
			若者の仕事が少ない。
			物価が高くて不安。
			貧富の格差が大きいと思います。高齢者の雇用環境をもっと整えて欲しいです。
		娯楽がない。孤独。	
		自分の経済力の無さ。	
		働く時間が長い。	
		財政が厳しい。	
		物価が高い。	
		高齢者が少しでも収入が得られる働き場があればと思う。	
	住用	公共交通機関が不便であること。	
		若者に仕事が少ない。	
		仕事でトラブルがあったとき。	
	笠利	昔の自然がだいぶ無くなった。	
		行政のサービス及び不公正。	
		市町村の合併による格差。	
		役所の対応の悪さ。	
			ごみの不法投棄が多いこと。
	女性	名瀬	若い世代、子ども達が奄美で就職できる様な仕事が少ない。将来、子ども達が島に帰ってきてくれるのか心配です。
			住まいが不満です。住まいを暮らしやすいようにして下さい。
			航空運賃がもう少し安くなると良いと思う。都会に出るだけでお金がかかることが不満。
			離島なので、本土に移動するのが不便。
			健康を害した時に相談するところやコミュニティが少ないところです。
			人間の情が薄れている。人を思う心がなくなっている。自分たちさえ良ければいいと思う方が多く見受けられるところ。
			台風が多く日常生活に支障をきたす。離島で交通の便も悪い。また交通費もかかること。
台風で船が欠航するとき。			
文化的な催しが少ない。研修の為の旅費負担が大きい。			
奄美の民度に不満を感じている。			
仕事でのストレス、人間関係です。嫌な人がいて7年も働いていますが、辞めたいと思うこともあります。			
奄美～鹿児島間に格安航空会社があればいいと思う。			
税金が高い。物価が高い。			
子どものことが心配。親の思うようには育たない。			
老いること。金銭的に貧困になりつつあること。			
自分、家族の病気。地域の会社の賃金が低く生活が苦しい人が多いこと。			
子どもたちにしっかりと人権教育をしてもらいたい。信頼できる医師がいない。どこでも自由に受診できるようにしてほしい。低所得など島では暮らせない状況にある。世界自然遺産登録や新商品開発に躍起になり、島人の良さを失わない様にしてもらいたい。			
奄美市の将来を考えると心配。奄美の何をどこを自慢したらいいのかわからない。			
仕事に就きにくい。			
子どもの医療費を18才くらいまで無料にしてもらいたいです。			
給料が低く、物価が高いこと。			
道路のメンテナンスが悪い。交通機関が充実していないこと。物価が高いこと。			
子どもたちが遊ぶ施設が少ない。大熊町に自衛隊が来るのが不満。			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見	
60歳代	女性	名瀬	笑顔がなくなったとき。	
			収入より支出の方が大きいこと。	
			高校卒業後は進学や就職などでほとんどの人が島から離れなければならない。航空運賃が高く、賃金の低い奄美ではとても負担になっていると思う。	
			交通機関が不便であること。	
			幸せとと思っていることをどのようにして伝えたいのか分からないことが、不満であり不幸にも思う。	
			難病のせいで、やりたいことがあってもできないこと。	
			子どもたちの専門大学、仕事に繋がる職業訓練校がもっとあってもよいのでは。	
			パートで生活をしてるのですが、賃金が低いので毎月大変です。	
			仕事がありません。	
			台風時の食料確保。若い人のかけるショッピングモールが少ない。農業に対して教えてくれる人材、そして体験する場所。これだけ土地があるのだから、農協がどうにかできないのでしょうか。	
			娯楽が少ない。	
			不幸とは思いませんが、90才の母親を見ているので正直に言うと辛いです。	
			子どもたちと海で離れていて早々会いに行けない。仕事もない。田舎。	
			高齢者に対する負担が大きくてとても不安です。年金だけでは生きられない。仕事もなく、働けない高齢者はこれからどうやって生きていけばいいですか？	
			島自体がいろんな意味で狭く、息苦しく思う時がある。人との繋がりがややこしい。	
			仕事がない。	
			働いているわりには収入が少ない。70才で仕事をやめたとき、年金だけで暮らせるかが不安。	
			年金生活では生きていけない。これから先不安。	
			自衛隊のミサイル基地が建設されようとしている事。オスプレイ飛行訓練による騒音と事故の不安。	
			車の運転免許証を返納する場合の不便さが気になる。毎日の食料品など大型店舗まで遠く歩いて行けないことなど。	
		産業が少なく、働く場所も少なく、若者が定住出来ない。大学が無く、教育にお金がかかり、人口は減るばかり。		
		子ども達が内地に行き帰ってこないこと。		
		私は幼いころ、貧しくても親の側にいられて幸せでした。最近の子ども達はどうかんでしょうか。両親とも必死で働き、子は学童保育とか。外で思い切り遊んで身体も作られるものと思います。放課後、子ども達が自由に遊べるように、校庭を開放してもいいのではないかと思います。		
		体も右手も麻痺で、お金もないので心が不幸です。		
		最近では相手を感じる心がない。若者が住めるように働く場所があったら良いと思います。		
		夫とのやりとり。		
		体調が思わしくないので、先々の心配や生活面での苦しさもある。		
		市内をもっと美しい街並みにしてほしい。		
		働けなくなること。		
		住用	行政に不公平さを感じる。	
		笠利	誰でも集える場所があるといいと思う。	
			奄美から本土への旅費が高い。貸家、アパートなどの家賃が高い。食べられる植物など根こそぎ無くなっていくこと。	
			車社会なのに、集落の中で通学路がなく危ないところ。	
			交通が不便なこと。	
			店があまりなく、町外で買うのが多い。24時間のコンビニがあったらいいと思う。	
			食べ物が高い。	
			特に若い人とのコミュニケーションがとりにくいこと。携帯ばかり触っている。	
			本土への交通費が高い。思うように旅行など楽しめない。	
			交通機関が不便。金融機関が遠い。	
			マナーが悪い。個人情報を知りたがり、聞いたことを言いふらす。小さい島だから、市長や議員の長年の権限が強すぎではないか。東京都知事のような、奄美ファーストをして欲しい。今のところ出来ない。未来は闇です。	
			子ども達と離れて会えないこと。最近体調も崩れ始めたので、生活の不安が頭を離れない。	
		-	名瀬	老後のことを考えると心配。
				税金が高い。
				税金が高いこと。
				自衛隊誘致したため、世界自然遺産は登録できないと思う。
				近くに店が無いのでわざわざ遠出して買い物をする必要があること。
				老後。
老人ホームへの入所が難しいと聞きます。団塊世代のため心配しています。				

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60 歳代	-	名瀬	子どもから高齢者までが使える島らしい施設を作ってほしい。奄美の伝統行事を気軽に体験できる所があったらと思います。私達でも島に住みながら知らないことが多い。
			医療機関の中身が充実していない。
			青年が少ない。大学と仕事がない。物価が高い。
		住用	思うように仕事が無いこと。
			人口減少していること。もっと若い人の仕事を増やしてほしい。
			体調の悪い時。
		笠利	行事が多いところ。
			何をやっても意味が無い。
70 歳代	男性	名瀬	環境汚染。
			離島であること。
			介護保険料負担額が高額すぎる。ウォーキングやリズム体操で健康維持、自立に気を付けている。医療費支出も我が家は少ないにもかかわらず、保険料の高さには不満を感じる。
			好きに外出したいが出来ないとき。
			年金が減っていくこと。街並みが奄美らしさを失っていくこと。
			年金が少なく、本当に大変です。
			地域によっては、閉鎖的な人間関係がある。
			情報公開して住民の理解を得る必要がある。安心安全を強調している理由等について、説明責任。
			年金生活で経済的にゆとりがなく、あとは天命を待つのみということ。
			自分中心に生きていると感じるとき。
			人口流出が目立ち、また産業がない。行政のアイデア、リーダーシップ、企画力のなさ。経済が冷え切ると不満が大きくなる。経済的に活性していない地域の住民は幸福度が低いと思う。基幹産業の不振、街並みの変化。空き家も多くなっている。車の奄美ナンバーを作る話があるが、何のためにするのだろうか。もっと他にやるべきことがあるのではないか。陸続きなら PR にも繋がるかもしれないが、離島で奄美ナンバーが走っても意味のない事。行政の考えは甘いのではないか。紬業界にしても、柄や色が古い。伝統産業はただ続けるだけではだめで、その時代時代を見極め進んで行くべきと、ある講演会で聞いた。まして大島紬はファッション。和装でも流行があるのに、親子三代で着まわせるというだけの謳い文句はもう古いのではないか。泥染の伝統は守る必要もあると思うが、草木染、化染など時代に合う色、織りも検討してみたらどうか。伝統にしがみつすぎて、後継者もないようでは…先が思いやられる。金沢の漆工芸などは何十年も前に県外からデザイナーを入れ新しい感性の職人とコラボをし、売上に繋がったという話も聞いた。若い感覚だけでも、古い伝統だけでも時代には合わない。紬は年を取った経験者と、時代に合った感性を持った人その両方が揃わないと良いものを伝承することは出来ないと思う。今の奄美はお世辞でも不満足が大きいです。行政企業のトップの行動力、そして市民一同での協力、賛同を願います。
			10 年前定年退職してから妻と離婚したこと。家族が亡くなったこと。
			行政機関が市民のボランティア活動に理解がないこと。
			ふるさとへの心を、人情、絆を若者にももっと大切にしてほしい。
			若者が定住できる職場が少ないこと。
		小さい島なので他人のことがお互い知られているので、良い時も悪い時もある(他人に干渉しがち)。	
		交通(バス)の便が悪いこと。	
		サラリーマン 50 年、払い続けてきた健康保険料を 75 歳になっても多額の支払いを続けていること。	
		年金が月にして 3 万そこそこで…将来はどうなるのか？	
		住用	買物が不便。
			タンギョの滝につり橋を作ること。
			不況の長期化。少子高齢化社会の到来。若者が定住する社会環境にない状況等、不満がまだ散在していること。
		笠利	交通が不便。物価が高すぎる。
			もう少し買い物ができる所を増やしてほしい。
			上下水道の整備が遅れており、トイレはまだ多くの家庭でタンク式のため、孫や子どもが帰省した時に怖がっている。国道もまだ未整備です。予算が少ないのは仕方がないが、観光客の目玉の海がどんどん汚染されてきている。
			集落の中に入ると道路が整備されていない。
			もっと安心して子育てができる様に努力してもらいたい。
時間とお金のゆとりがないこと。			
-	奄美の生産物や大島紬を成長させ、他から仕入れるのではなく、島の者を活用した産業を興してもらいたい。		
女性	名瀬	街づくりに関して、行政の努力が感じられない。市政と人々の考えがかけ離れすぎている。	
		長男が自立できずに援助していること。	
		交際費が多いこと。	

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
70 歳代	女性	名瀬	県外への交通費が高額なため旅行が出来ないところ。
			病気になったときの病院が心配です。
			本土まで通院しなくてはならないとき。金銭的など色々。
			若者はもっと働き、生活が豊かになるように努力するべきだと思う。
			収入は少ないが、出費が多い。年金生活なので毎日が大変。子どもたちには迷惑をかけたくないと思っている。
			沖縄ほどの開拓は望みませんが、若者が喜んで帰省したり観光客が楽しめる施設が出来たら、私達も余生を楽しめると思う。
			年金が少なく大変。
			少ない年金での生活が大変。生活保護の方が楽しんで生活しているように思える。
			医療福祉施設が不十分である。
			目標を持たない大人が多すぎる。子どもに悪影響だと思う。
			タクシー代の値引きをしてもらっている人がいるが、本当に適正なのか。年金受給者より多くの額をもらっているのは許せない。
			医療機関が少ない点。
			物価が高いところ。
			大きな病気をしたとき。
			生涯、薬を飲まないといけな病気を患っているのが不満。
			物価の高いところ。
			老人が自由に使用できる憩いの場を考えてほしい。老後の施策について現状を十分に認識するべき。
			自分自身の体が思うように動かない。歩けない。目も悪く細織りもできないこと。
			福祉をもっと充実させてほしい。
			台風時の施策があれば心強く生活できる。防風林を植えたらいいと思う。
		旅行に行くときの高額な交通費。ごみの不法投棄や川の汚染。	
		町の活性化。市税が高い。高齢者に対する医療福祉をもっと充実させてほしい。	
		自立心がなく、若いのに生活保護世帯が多すぎる。ところ。	
		健康面と金銭面。	
		道路は歩行者優先になっていない。散歩できるような道がほしいです。	
		主人が7年前から難病になり、入退院を繰り返していること。	
		親として自分の不甲斐なさで子ども、孫との付き合いが薄い。兄弟姉妹の関係がぎくしゃくしていること。	
		野良猫がゴミを散らかすことが嫌になります。	
		日々の生活が困窮している。	
		年金の中から健康保険税の支出は非常に高いので、東京都のように老人にやさしい市であって欲しい。奄美市は保護世帯にやさしく、老人には不親切な市である。	
		思うように動けず、買い物以外自由に外出できないこと。色々な所に自由に動けたらこれ以上のことはない。	
		住用	長生きしたくない。
			捨て猫が多くなっている。国立公園になるので、一人一人が自覚を持ってほしいと思う。
			店が遠い。
		笠利	日々の生活にはたくさんありすぎるが、特に金銭面。家にいる子どものこと。猫がたくさんいてどうしたらいいか？
			自分が車を乗れなくなった時に、買い物など遠出が出来なくなる。こと。
			年金生活はきつい。子どもの世話や負担になりたくないと思っている。
			買物に不自由を感じる。人を頼りにしなくてはならないところ。
			経済面と健康面を考えると。
			住民の視野が狭い。違う意見を取り入れないところ。
		名瀬	離島には電車も自動車、ロープウェイもない。大学もない。安い年金で暮らしている。もう少し暮らしを裕福にして欲しい。離島運賃が付く為、本土より物価が高い。生活保護者は賛沢に暮らしている。一般の人は国民年金で1ヶ月5万円しかもらえない。
			妻が残した借金に毎月苦労している。
	老人ホームをもっと増やしてほしい。		
	名瀬市内に大浴場が欲しい。		
住用	妻に先立たれたこと。		
笠利	交通の便が悪いところ。		
	年金額が一般企業と公務員と違いすぎてびっくりする。		

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住 地区	意見
80 歳以上	男性	笠利	親族が亡くなったとき。
			買物、交通手段の悪さ。若者が生計を得るための仕事が少ないこと。
			若者が少ない点。
			交通の便(公共交通機関が不便)。
	女性	名瀬	後期高齢者医療保険と介護保険料が不満。
			毎日食べる野菜が高い。地元野菜を安心して食べたい。農業に力を入れることが大事。若い人の就農率が増えたら最高です。
		住用	身体が不自由で思うように動けないこと。
			行政サービスが偏っていること。
		笠利	お店がなく買い物不自由なところ。
			お店がないところ。
-	男性	名瀬	年金だけでは生活出来ない。医療費の負担が多い。
			眼科の先生がたくさんいたらいいと思います。
	-	-	若者が楽しむ場が少なすぎる。年を重ねると分からないが、若者としてここに長く留まることは考えられない。
			親の介護がかなり大変であること。
			毎日あわただしく、時間のやりくりも大変。孫が三人になり、子育てしやすい環境かと考えると不満を感じる。
			高齢になっていく不安。行政が福祉全般をサポートしてほしい。



### 3. 奄美幸福度指数

#### (1) 奄美幸福度 DI

DI (Diffusion Index) は、企業や業界の景況感等を数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられるものである。

各単純集計結果の「分からない」及び無回答を除いた回答数を求めた上で、『そう思う(「大いにそう思う」+「まあまあそう思う」の合計)』の構成比から、『そう思わない(「あまりそう思わない」+「全く思わない」の合計)』の構成比を引いて奄美幸福度 DI として指標化すると、以下のとおりとなった。全てにおいてプラスであり、特に「おもてなし意向度」は+78と高く、一方、「医療・福祉環境の満足度」は+1と、他に比べ低くなっている。

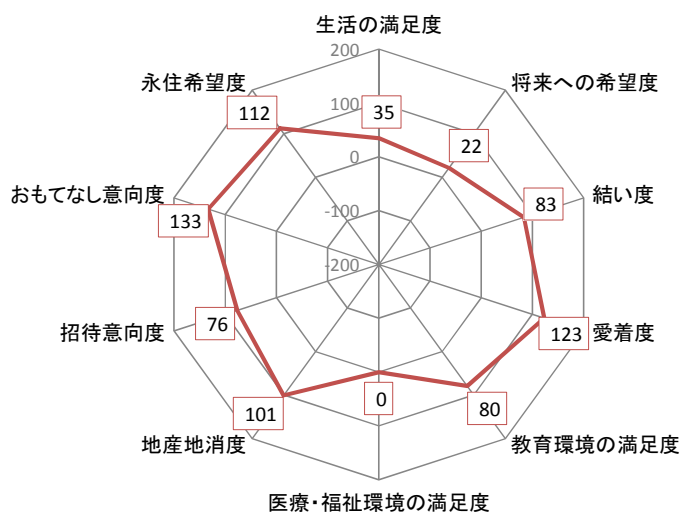
〔「分からない」及び無回答を除く回答数の構成比(%)と奄美幸福度 DI、点数〕

	『そう思う』			どちらとも言えない	『思わない』			奄美幸福度DI	点数化
	大いに そう思う	まあまあ そう思う			あまり そう思わない	全く 思わない			
生活の満足度	42	14	28	42	16	10	6	+26	35
将来への希望度	39	16	23	36	25	16	9	+15	22
結い度	65	34	31	22	13	9	4	+53	83
愛着度	78	54	24	16	6	4	2	+72	123
教育環境の満足度	65	32	33	23	12	8	5	+52	80
医療・福祉環境の満足度	33	9	25	34	32	23	10	+1	0
地産地消度	71	40	31	22	7	6	2	+63	101
招待意向度	62	32	30	24	13	8	5	+49	76
おもてなし意向度	83	57	26	12	5	3	2	+78	133
永住希望度	73	53	20	16	10	7	4	+63	112

#### (2) レーダーチャート

各単純集計結果の「分からない」及び無回答を除いた回答数を求めた上で、それぞれの構成比に、「大いにそう思う」は+2点、「まあまあそう思う」は+1点、「どちらとも言えない」は0点、「あまりそう思わない」は-1点、「全く思わない」は-2点と点数化し、レーダーチャートで示すと右図のとおりである。

最高点 200 点、最低点が-200 点であるうち、「おもてなし意向度」が+133 点と最も高得点で、次いで愛着度が 123 点、「永住希望度」が 112 点、地産地消が 101 点などとなっている。



## 参考資料

### アンケート調査票



## 奄美幸福度調査アンケート



問1 あなたの実感に最も近い番号に1つ〇をつけて下さい。

項目	まったく 思わない  大いに 思う					分から ない
	1	2	3	4	5	
あなたは日常生活に対して満足していますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは将来に希望を持っていますか？	1	2	3	4	5	0
あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは奄美が好きですか？	1	2	3	4	5	0
奄美は、子どもがいぎいぎと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？	1	2	3	4	5	0
奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	1	2	3	4	5	0
あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？	1	2	3	4	5	0

問2 あなたが、日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？  
また、日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？  
自由にご記入ください。

「幸せ」または「満足」に感じること：
「不幸」または「不満」に感じること：

※あなたご自身のことについておうかがいします。

◎あなたの性別、年齢、居住地区をお答えください（各〇は1つ。）

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳代以上
居住地区	1. 名瀬	2. 住用	3. 笠利	